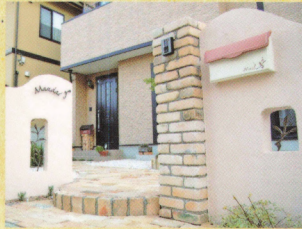
ブティック・ムックno.1101

お庭の悩みを一挙に解決！庭を美しく暮らしやすくチェンジ！

ガーデンリフォームアイデア100

ウッドデッキ&テラス

美しい門まわり

ローメンテナンスの庭

BEFORE

ガーデンルームで
庭にもうひとつの部屋を

AFTER

ガーデンリフォームで快適な庭生活を実現！

美しい庭、楽しい庭、家族の憩（いこ）いの場としての庭…。お家に合ったすてきなお庭は、誰もがあこがれるゆとりの空間でしょう。お庭は、暮らしやすく使い勝手が良いのが一番です。

でも、暮らしやすさや使い勝手の良し悪（よしあ）しは、住んでみて、はじめてわかること。隣家からの視線や動線、メンテナンスの手間など、ちょっとしたことがストレスにもなりかねません。また、家族の成長などライフスタイルの変化により、お庭に求めるものも変わってきます。

そんな時は、思いきってお庭をリフォームしましょう。お庭を有効に使いたいのか、メンテナンスの手間がかからないお庭にしたいのか…。お庭に何を求めるかで、ガーデンリフォームの目的が決まってきます。ガーデンルームやウッドデッキをつくってアウトドアリビングを楽しんだり、お子様や愛犬が安全に遊べるお庭にするのもよいでしょう。最近は、豊富なアイテムと素材で、ガーデンリフォームもお好みに合わせて自由自在です。

本誌のガーデンリフォームアイデアを参考に、ぜひ、あなたのお庭をすてきに変身させてみてください。

CONTENTS

※本誌は、既刊の『エクステリア＆ガーデン』No.22～No.32に掲載した施工実例の中で人気の高かったガーデンリフォーム実例に新規内容を加えて再編集したものです。

※本誌掲載の施工実例の施工期間・費用などのデータは、各施工会社と施主の方々のご許可・ご意見により掲載しており、あくまでも目安です。実際にエクステリアの工事を依頼される方は、P.94～95の「施工会社一覧」をご覧の上、直接各施工会社にご連絡ください。また、ブティック社は、施工についての責任は一切負いません。

編集人　志村悟
発行人　内藤朗
発行所　株式会社ブティック社　☎03-3234-2001
〒102-8620 東京都千代田区平河町1-8-3
編集部直通　☎03-3234-2083
販売部直通　☎03-3234-2081
印刷　凸版印刷株式会社

編集担当　志村悟
レイアウト　梁川綾香　松本真由美

取材協力先一覧 ※五十音順

(株)E&Gアカデミー　☎03-5825-8782
(株)オンリーワンクラブ　☎0568-86-0011
(株)三樂　☎03-3820-8853
四国化成工業(株)　0120-212-459
(株)ZERO　☎072-948-9177
(株)タカショー　☎073-482-4128
タカショーリフォームガーデンクラブ事務局　☎073-486-2534
ディーズガーデン　☎075-681-2891
(株)LIXIL お客さま相談センター(TOEXブランド)　0120-126-001

美しく暮らしやすい庭を実現！

ベストガーデンリフォーム

誰もがあこがれるのが美しくて暮らしやすいお庭。でも、デザインの良さだけで新築外構(しんちくがいこう)をつくったり、建売住宅(たてうりじゅうたく)に住んでから使い勝手の悪さがわかるなど、はじめての方にはわからないポイントがあります。ここでは、暮らしやすく、見た目も美しいお庭を実現したベストガーデンリフォーム実例をご紹介します。

レイアウト＝松本真由美（P.4～19）

Style 1 ガーデンルームで家族みんながすごしたくなる場所にリフォーム

After

リフォーム後は、ご家族みなさまがすごしたくなる場所に。
ガーデンルーム・フェンス＝LIXIL（TOEX）「自然浴家族ジーマ２間８尺」・「ステイウッドフェンスM2型」

K邸では、古くなってきたガーデンルームとウッドデッキをリフォームしました。

腐りかけのウッドデッキを取りはずし、塗り替えなどのメンテナンスがかからないタイル貼りのテラスを設置。その上に新しいガーデンルームをつくりました。

それ以外の部分もアンティークレンガを敷き詰め、雑草が生えにくいスペースを増やし、比較的お手入れの手間がかからないお庭に仕上げました。

ゴルフが趣味のご主人のためにパター練習場もつくりました。

Before

リフォーム前はウッドデッキがかなり傷んでいる状況で、雑然としています。

Planner's comment

浦崎(うらさき)　正勝(まさかつ)さん

お手入れがラクになるようにお庭を全面リフォームさせていただきましたが、ポイントとなる部分には植栽スペースをつくり、自然も感じられる場所にしました。

↑ 新しいリビング空間の誕生です。
↓ 上から見たお庭の全景。リフォーム前のお庭よりスッキリして、明るいお庭になりました。手前はパター練習場です。

↑↓ 花壇などを設け植栽（しょくさい）スペースを確保。お手入れがラクになるお庭ですが、自然も感じられるように。

パース

作成＝（株）ひまわりライフ

兵庫県Ｋ邸
施工面積＝約 20 坪
施工期間＝約 20 日
費用の目安＝約 300 万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ西神戸店（P.94 参照）
プランナー＝浦崎　正勝さん

Style 2

大人がくつろげるアジアンリゾート風にリフォーム

After

リフォーム後は大人がくつろげるアジアンリゾート風テラスに。

リフォーム前は芝生と生垣のみの横長のお庭。

タイルの敷き方にも変化をつけ、モザイクタイルをアクセントに。

住宅密集地の中に建つH邸。Hさんのご要望は、

①リビングの掃き出し窓から向かい側のお宅の勝手口が見えるため、いつもブラインドを降ろしているので、対策を。

②芝生と生垣のみの横長の庭を有効利用したい。

③くつろげるリゾート風の庭にしたい。

とのことでした。

そこで、「大人がくつろげるアジアンリゾート風テラス」をテーマにプランニングしました。

既存の芝生と生垣は整理し、リビング前にタイルテラスを設置しました。タイルの敷き方にも工夫を凝らして変化をつけ、モザイクタイルでアクセントを入れました。

夏場は日ざしでタイルの上が暑くなるので、タープ（日よけ）を取り付けて、暑さ対策にも配慮しました。

隣家からの目隠しとして、高さのあるデザインウォール（装飾性のある壁）を設置しました。両脇に花壇を設けてバランスをとり、角柱を組み合わせることで圧迫感を解消。隠したいものはしっかり隠すことができます。

夜、お仕事から帰ってきて外を見た時にもすてきなお庭に見えるように、アップライトを配置しました。

植栽も、横一列に植えるのではなく、奥行感が出るように配植（植物をバランス良く配置して植えること）しました。

タープを取り付けて暑さ対策に配慮。

リフォーム前のお庭。

リフォーム前のお庭。

リフォーム後。植栽も横一列に植えるのではなく、奥行感が出るように配植。樹木は左から常緑ヤマボウシ、ブルーベリー、キンバイカなど。花壇にはドラセナを植栽。

千葉県Ｈ邸
施工面積＝約 10 坪
施工期間＝約 10 日
費用の目安＝約 125 万円
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
柏展示場店（P.94 参照）
プランナー＝小野寺　滋子さん

隣家からの目隠しとして、高さのあるデザインウォールを設置し、両脇に花壇を設けてバランスをとり、角柱を組み合わせることで圧迫感を解消。

美しく暮らしやすい庭を実現！
ベストガーデンリフォーム

Planner's comment

小野寺　滋子 さん

ご夫婦ともにお仕事をされているＨさん。夜、家に帰り、ホッと一息つける空間になればと思い、照明を配置。テラスで心やすらぐひとときをすごしていただきたいと思います。

After

↑ リフォーム後の外観。備前産のアンティークレンガを基調にした塗り壁の門まわりには、ディーズガーデンアイテムが随所に盛り込まれ、植物とともにやさしく迎えてくれるかわいいフロントガーデン（前庭）に。

Before

→ リフォーム前の外観。

→ 日が暮れてくると明るさセンサーに反応して自動的にライトが点灯。

Style 3

かわいいアイテムがつまったフロントガーデンにリフォーム

団地内の奥地に建つM邸。南向きで隣地と近いため、夏場以外は半日のみ日照がある立地でした。Mさんのご要望は、①セミクローズドタイプの外構を。②既存のレンガや一部植栽を生かしてプランしてほしい。③ディーズガーデンのアイテムを使ってかわいいデザインにしてほしい。とのことでした。

団地内の一番奥の立地状況なので、来客がひとめ見て入口がわかるような動きのある門まわりに仕上げました。

門まわりの商品はすべてディーズガーデンのアイテムで統一して、表札・ポスト・フィックスフェンス、アクセントポールといろいろな箇所に施工しました。

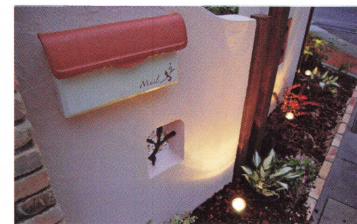
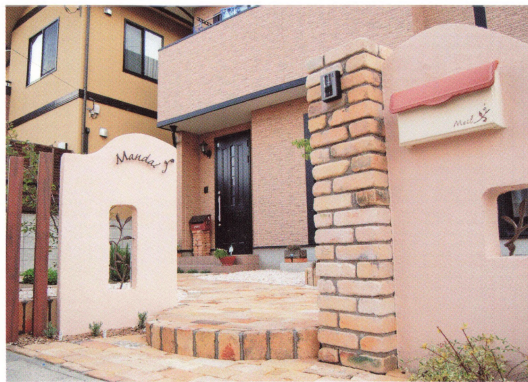
アプローチの舗装材と角門柱には備前産の景観用リサイクル耐火レンガを使用して、アンティークでありながらもかわいい雰囲気を演出しました。

水はけが悪くジメジメとした場所でデッドスペースとなっていた玄関前のスペースには適度な舗装を施し、周囲には香りと食用に楽しめるようなハーブを植えました。

来客時のちょっとしたスペースとして、またご家族のスペースとしても、大人子どもを問わず楽しめる空間になりました。

また、夜景では外からでも中からでも楽しめるライトアップをして、デザイン塀の間接照明と合わせて植物の陰影も楽しめる工夫をしています。

フロントガーデンにはアベリア、ギボウシ、メギ、オオデマリ、ラベンダーが植わっています。昼の表情（右）と夜の表情（左）。夜にライトアップによる効果でやわらかく映し出された植栽の陰影は、塗り壁の上で風の動きに合わせて幻想的な風景を演出。

昼と夜でまたちがった表情を見せる門まわり。複数の小さな照明は家族の帰宅を迎える光、来客を迎える光、防犯としての光、見て楽しむ光…。さまざまなシーンでその役割を担ってくれます。

塗り壁門柱に備えられたディーズアイテム。

※使用素材
ポスト・フェンス・表札・アクセントポール＝ディーズガーデン「スタッコU」・「アールフィックスフェンス２型」・「ディーズサイン鋳物コレクション」・「ディーズデコ・ティンバー」

リフォーム前は水はけが悪く湿っぽい空間で、人が寄りつかなかったスペースでしたが、リフォーム後は来客時には少し腰をおろして休めるような空間へと変身。

シンボルツリーには良株のオリーブを採用。ライティングが加わったオリーブには光と影のコントラストが生まれ、家族がやすらげる空間を演出。

岡山県Ｍ邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約30日
費用の目安＝約140万円
設計・施工＝エクスライフ
（P.95参照）
プランナー＝三井　勇樹さん

アプローチのリフォーム前（上）とリフォーム後（左）。やわらかな曲線を多く使ったアプローチでやさしい動線で玄関へと導きます。空間の中に円形や半円デザインも多く取り入れ、アプローチラインを中心に全体的に連帯感を感じられるよう配慮。

Planner's comment

三井　勇樹 さん

数回にわたり図面の修正がありましたが、確実にご希望のデザイン・設計へと近づいていっているのがわかり、内容の濃い打ち合わせを重ねていった結果が出たと思います。門まわりのメインアイテムとなったディーズガーデンさんからも高い評価をいただきました。Ｍさんのこだわりが通じたのでしょうね（笑）息子様が果樹やハーブに関心をもって実や葉を口にしている姿を見るとうれしくなりました。長く愛用してもらえるディーズガーデンアイテムに加え、耐火レンガの風化と植物の生長が今後の楽しみになると思います。

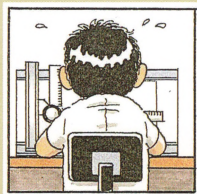
After

休日はお友達を招いて楽しくバーベキュー。

Before

リフォーム前。敷地はほぼ更地の状態でした。

兵庫県Y邸
施工面積＝約56坪
施工期間＝約40日
設計・施工＝（株）ウエシン（P.94参照）
プランナー＝酒井　康裕さん

Planner's comment

お庭を活かすには、そのシーンに人物が必要です。建物のお飾りにはしたくないです。たまにここを訪れると、いつもお庭を使っている痕跡があります。そんな時は、プランナーとして、とてもうれしく感じます。

Yさんは、もともとお住まいだった敷地の隣地を、駐車場とお庭専用の場所として購入され、工事前はほぼ更地の状態でした。

玄関ポーチからお庭へ新たな通路を設け、バラのアーチをくぐると新しい夢の空間が広がる。そこは日常から少しだけかけ離れたプライベート空間…。そんなコンセプトで設計しました。

バラをはじめ、季節ごとの花と緑に囲まれ、ご家族で配置されたブランコが、まるで絵本に出てきそうなメルヘンチックな風景を演出しています。

みんなが集まるテラスは、水がこぼれたような不規則な輪郭をしています。最初は円形だったのですが、「整った人工的な形よりも自然な曲線がよい」という奥さまのご希望に合わせ、設計の段階で変更しました。

休日はお友達を招いて楽しくバーベキュー。新緑や紅葉の頃には、朝食をトレイに乗せてお庭でお食事。Y邸ではお庭がすっかり生活の一部として定着しています。季節ごとに変化するお庭をながめながら、自然と会話もはずみます。

駐車場からテラスまでのアプローチ。芝生の中を縫うように石肌調（いしはだちょう）のスタンプコンクリートでやさしく曲線を描きました。

玄関ポーチからお庭へ新たな通路を設け、バラのアーチをくぐると新しい夢の空間が広がります。

工事後ご家族で購入されたブランコ。

バラや季節ごとの花と緑に囲まれ、ご家族で配置されたブランコが、まるで絵本に出てきそうなメルヘンチックな風景を演出。

美しく暮らしやすい庭を実現！
ベストガーデンリフォーム

アーチにはバラとクレマチスをからませて。

みんなが集まるテラスは、整った人工的な形よりも自然な曲線がよいという奥様のご希望により、水がこぼれたような不規則な輪郭に。

Style 5

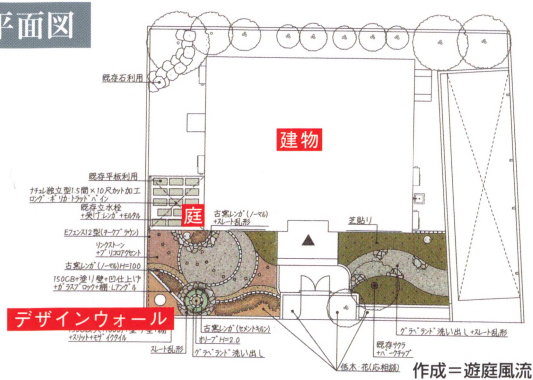
花いっぱいのプライベートガーデンにリフォーム

After

↑ リフォーム後のお庭は花いっぱいのプライベートガーデンに。シンボルツリーはオリーブ、植物はクリスマスローズ、モッコウバラなど。

平面図

作成＝遊庭風流

Before

→ リフォーム前は、石材を多用した和風テイストのお庭でした。

U邸のお庭は、石材を多用した和風テイストでした。ガーデンリフォーム工事にあたってのUさんのご要望は、

① 和風の庭をナチュラルな雰囲気に変えたい。

② まわりからの視線を適度にカットできるデザインウォール（装飾性のある壁）を設けてほしい。

③ 将来、庭でくつろげる空間がほしい。

とのことでした。

そこで、ナチュラルガーデンに適さない和風テイストの強い石材は、処分せず、裏側の花壇に再利用することにしました。

メインのお庭には、R（曲線）のデザインを多く取り入れ、2階から見ても楽しめるようプランニングしました。草花も、四季を通じて楽しめるものを選び、一年中見て楽しめるお庭づくりを心がけました。

Uさんにもお庭を楽しんでいただきたいという思いで設置したデザインウォールに設けた木製棚は、かわいらしい置物で装飾され、よりやわらかな印象のお庭に。圧迫感をなくすために埋め込んだガラスブロックは、塀をRにデザインすることで、表から見ることができるように工夫しました。

ほどよく表と仕切られたお庭は、ご家族で楽しめるプライベートガーデンに仕上がりました。

お庭コーナーからデザインウォールをのぞんで。

パース

デザインウォールとフェンス。

木製棚はかわいらしい置物で装飾。

メインのお庭にはRのデザインを多く取り入れ、2階から見ても楽しめるように。
舗装材＝四国化成工業「リンクストーン」

美しく暮らしやすい庭を実現！
ベストガーデンリフォーム

福岡県U邸
施工面積＝約12坪
施工期間＝約20日
費用の目安＝約140万円
設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）
プランナー＝山田　勇志さん
　　　　　　桶本　麻依さん

Planner's comment

山田　勇志さん（左）
桶本　麻依さん（右）

四季を通して花で彩られたお庭。Rのデザインウォールが外部からの視線をほどよくカットしてくれているので、お庭でのアフターヌーンティーも存分に楽しんでいただけると思います。奥様こだわりのティーカップがとても映える、やさしい雰囲気のお庭に仕上がりました。

リフォーム前は芝生のお庭でした。

古釜レンガは、定型のレンガと大きさがまちまちのランダムボードを組み合わせました。

リフォーム後のお庭全景。タイルのテーブルが良いアクセントになっています。

Style 6 自然素材の趣ある庭にリフォーム

Hさんは、最初にお会いしたときの印象から、すてきな雰囲気のご夫婦でしたので、お宅におうかがいするのがとても楽しみでした。実際にご訪問したら案の定、すてきな外観の輸入住宅で、ワンちゃんもダルメシアン！「これはすてきなお庭をつくらなければ！」と強く思いました。

Hさんのお庭はもともと芝があったらしいのですが、なかなか手入れが大変とのことでしたので、広い面を固める方向でお話が進み、古釜レンガ敷きの土間（床面）になりました。単調にならないように、黒っぽいレンガも配置し、さまざまな大きさの古釜レンガを使って構成しました。

リフォーム後は、既存の土間と違和感がなくなじみ、全体として統一感が出ました。ナチュラルな雰囲気がすてきな、特徴のあるお庭になったと思います。

Planner's comment

新田　美由紀さん

表情のある古釜レンガは、芝生や緑ととても相性が良く、自然なお庭づくりには欠かせませんね！

美しく暮らしやすい庭を実現！

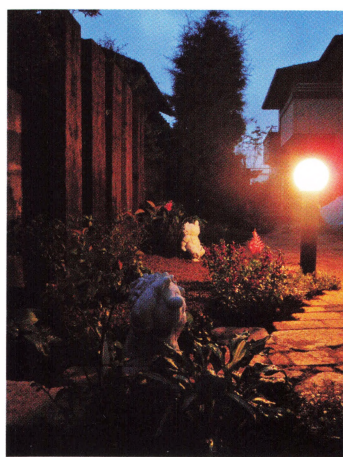
ベストガーデンリフォーム

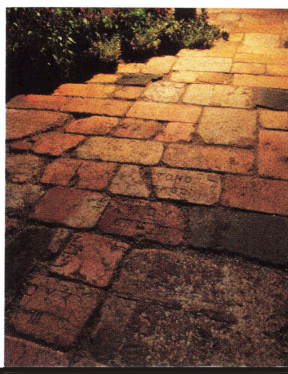
↑古釜レンガ敷きの園路。黒っぽいレンガでアクセントをつけて。
↓枕木も風化した感じの表情で、古釜レンガによく合います。

↑涼しげなアオダモの葉。

↑シンボルツリーのエゴノキ株立ち。紫の花はアンゲロニア。

↑いろんな表情がでて飽きがこないですよ！

↑オブジェ。よく見たら木陰から顔を出している感じがかわいい。

↑↓夜のライトアップで、古釜レンガの刻印が浮かび上がって良い味を出してくれています。

↑すてきな雰囲気のHさんご夫婦。

福岡県Ｈ邸
施工面積＝約 40 坪
施工期間＝約７日
費用の目安＝約 200 万円
設計・施工＝グランド工房筑紫野店
（P.95 参照）
プランナー＝新田　美由紀さん

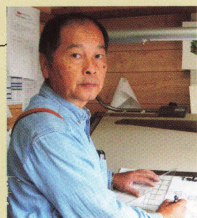
After

Style 7

使わなくなった駐車場を美しい庭にリフォーム

リフォーム後。イメージ一新して、華やかなお庭に。道行く人をも楽しませてくれます。

Planner's comment

小澤　明 さん

楽しいお庭のスペースを提案するためには、施工する人が楽しみながらつくるのがポイントです。そうすれば、完成したものが大変おもしろい作品になります。また、施主の方に参加してもらう（ご希望をきく）ことにより、いっそう信頼を深めることになります。この実例はガーデンリフォーム工事の一種ですが、１ヶ所もこわすことなく完成。なるべくゴミを出さずに施工することを心がけました。最近は、お庭をこわして駐車場にすることが多いのですが、この実例は逆のパターンです。このようなパターンが見直されて施工例が多くなると、環境にも良いでしょう。「住」と「環境」を考える起点になればよいと思います。

美しく暮らしやすい庭を実現！

ベストガーデンリフォーム

Before

リフォーム前。奥が駐車場で、左右に壁があり、機能門柱がありました。

ガーデニングがご趣味のＨ邸。半分ビルトインの駐車場のリフォームのご依頼でした。Ｈさんの方のご意見もうかがいながらプランニングした結果、

①左右の壁を隠す。

②ガーデニングを楽しめるスペースをつくる。

③既存のシステム門柱はウッド調で仕上げる。

ということになりました。

まず、リサイクルレンガを使用して、前面に花壇を製作しました。ほかにもいたるところに植栽スペースを設けて、ガーデニングを楽しめるスペースを確保しました。

左右の壁はウッドフェンスで隠しました。素材はメンテナンスフリーのアイアンウッド（鉄のように硬い木材）です。

同じ素材でウッドデッキ（ローデッキ）壁水栓・花台付き壁・棚・収納庫・パーゴラ（洋風の藤棚）・ベンチをつくり、狭いスペースを最大限に活用できるようにしました。

東京都Ｈ邸
施工面積＝約４坪
施工期間＝約３日
費用の目安＝約 70 万円
設計・施工＝（有）庭樹園
（P.94 参照）
プランナー＝小澤　明さん

リフォーム前(右)とリフォーム後(左)。メーター器の点検のために、見やすくしました。

Point 前面にリサイクルレンガの花壇をつくる

水道の止水コックやメーター器を確保することが重要です。上の写真の水栓ボックスから、壁水栓につくりかえます。そして、排水マスを花壇の中に確保します。

その上に草花の培養土(ばいようど)を入れ、肥料と防虫剤を入れます。

植物の根腐(ねぐさ)れを防ぐために、下部にココナッツヤシのチップ材を10cmぐらい敷きます。

排水(はいすい)マスを上に伸ばして、点検可能にします。

最後に季節の植物を植えて、花壇のできあがりです。写真の植物はシロタエギク、ビオラ、クリスマスローズ、バコパ、キンギョソウ、ネメシア、アリッサムなど。

↑→ リフォーム前は万年塀（まんねんべい）の手前に鉢植えを置いていましたが（上）、リフォーム後は横貼りのウッドフェンスで目隠し（右）。花壇の中の植物はツルバラ‘バレリーナ’、イベリス、壁掛けプランターの植物はツルギキョウ。

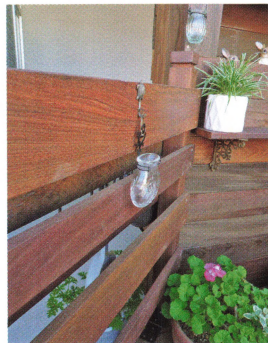
Point 左右の壁をウッドフェンスで隠す

左側の万年塀をウッドフェンスで隠し、手前に花壇とベンチをつくります。花壇にツルバラ‘バレリーナ’を植え、オベリスクをかぶせ、フェンス上部のパーゴラに誘引します。また、フェンスに壁掛けプランターを取り付けます。

Point フェンスの表裏をじょうずに利用する

横貼りのウッドフェンスの裏には、ジョウロ、チリトリ、ホウキなどを収納する場所をつくりました。収納場所を確保するのは大切なことです。フェンスの表側は、おしゃれな一輪ざしなどで飾る場所。施主の方のセンスの見せどころになります。フックや金具にもこだわりを表現するとよいでしょう。ウッドデッキはローデッキという高さ 5cm の低いデッキに仕上げました。

→ フェンスの裏にはジョウロ、チリトリ、ホウキなどを収納。

→ フェンスの表側はおしゃれな一輪（いちりん）ざしなどで飾る場所に。

Point 既存のシステム門柱をウッド調に仕上げる

既存のシステム門柱は、照明・インターホンを取りはずし、ウッドを貼り、下部を花壇にします。

→ リフォーム前（左）とリフォーム後（右）。

凸状の花台を２ヶ所つくり、壁の中央をカットしてスリット状の窓を作成。壁の中央に配管をして壁水栓をつくって横にホース掛けを設置。

壁の左側にはアイアンフェンスを設置。

Point 壁をつくってさまざまな機能をもたせる

右側の壁には、凸状の花台を２ヶ所つくりました。横に並べるのではなく上下に位置をちがえることにより、変化をつけています。壁の中央をカットして、スリット（すき間）状の窓をつくりました。その手前も台を取り付けて、小物などを置けるようにしています。壁の中央に配管をして壁水栓をつくり、その横にホース掛けを取り付けました。施主の方のご希望により、ホースも茶色にしています。壁の左側にはアイアン（鉄）フェンスを設置。クレマチスなどのツル性植物の鉢植えを置けば、ツルをからませる（これを誘引ともいいます）ことができます。壁の目地（継ぎ目）を閉めることにより、落ちつき感を強調しています。

美しく暮らしやすい庭を実現！
ベストガーデンリフォーム

Point 壁の表裏をじょうずに利用する

正面の壁の表側はかわいいオブジェなどで飾り、裏側は便利な収納庫にしました。タマネギ、ジャガイモ、ゴボウなどの野菜を収納できるほか、ゴミ箱や水のタンクなども置けます。

使わなくなった駐車場を美しい庭にリフォーム

壁の裏側は便利な収納庫。野菜、ゴミ箱、水のタンクなどが置けます。

壁の表側はかわいいオブジェなどで飾って。

ガーデンリフォーム成功のコツ

ガーデンリフォームを成功するコツは、「ガーデンリフォームの目的をハッキリする」ことです。美しい庭、楽しめる庭、メンテナンスの手間がかからない庭…。お庭に求めるものは、人によってそれぞれ異なります。また、ライフスタイルの変化によっても、お庭に求めるものは変わってきます。ガーデンリフォームの目的がハッキリすれば、それを実現するためにはどうしたらよいかが決まってきます。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&Gアカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.20～21）

❶ 古くなって使えなくなった構造物を取り替える

腐食したウッドデッキや壊れたテラスなどは、すぐリフォームする必要があります。そのままにしておくと、思わぬケガをしたり、不便が生じたりして、お庭での生活が快適でなくなります。古くなって使えなくなった構造物は、より良い素材でリフォームしましょう。

※お庭の現状が気になる方は、P.88～89「こんなケースは即リフォーム！」参照。

古くなったウッドデッキをメンテナンスフリーのデッキにリフォームした例。リフォーム前はウッドデッキや竹垣の腐食が著しく危険なため、お庭に出ることもできませんでしたが（左）、リフォーム後は、毎日のように外でお茶を飲むのが楽しみに（右）。

❷ 使いにくいスペースを有効利用する

玄関前の狭いスペースや何もない庭、隣家との境界の狭い通路などのデッドスペース（使えないスペース）は、ガーデンリフォームで快適な空間に変えることができます。植物で飾ったり、ウッドデッキやガーデンルームをつくれば、アウトドアリビングとしても活躍します。

※お庭の有効利用については、P.22～31「リフォームで庭を有効活用」P.32～33「使えないスペースを有効利用するアイデア」P.34～42「ガーデンルームで庭にもうひとつの部屋を」参照。

玄関前の比較的狭いスペース（左）を、自然石・木材・砂利などの自然素材と植物と組み合わせて、お客様をやさしく出迎えるフロントガーデン（前庭）にリフォーム（右）。

❸ 使い勝手が良く暮らしやすい庭にする

使い勝手の悪い構造物や不便な生活動線はストレスのもとです。お庭や門まわりは毎日使うものですから、できるだけ快適にすごせるようにリフォームしましょう。また、駐輪スペースなども見落とされがちですが、アイデアしだいで使いやすいものに生まれ変わります。

※暮らしやすいお庭については、P.44～49「暮らしやすい庭にリフォーム」P.50～51「庭を暮らしやすくするアイデア」参照。

暮らしやすさを追求した庭の例。リフォーム前は水はけが悪く、既存のアルミ製の味気ないフェンスが露出していましたが（左）、リフォーム後はアイアンウッドでデッキをつくり、駐輪場の屋根もアイアンウッドでつくって全体の雰囲気を統一。床面は砂利洗い出しで仕上げました（右）。

④ メンテナンスの手間がかからない庭にする

お庭はある程度のメンテナンスが必要ですが、年齢が高くなってくると、メンテナンスの作業が苦痛になってきます。お庭の悩みでもっとも多い雑草対策としては、石・タイル・舗装材などを敷いて土の面積を少なくするとよいでしょう。メンテナンスフリー（メンテナンスの手間がかからない）にするためには、テラスならタイル貼り、ウッドデッキならアイアンウッド（鉄のように硬い木材）、芝庭は人工芝の庭にするのがおすすめです。また、茂りすぎた樹木や生垣も採光や視界を悪くします。樹木や生垣は、適宜剪定することです。

※ローメンテナンスの庭については、P.52 ～ 57「ローメンテナンスの庭にリフォーム」P.58 ～ 59「ローメンテナンスの庭にするアイデア」参照。

↑ メンテナンスフリーのアイアンウッドのデッキ。

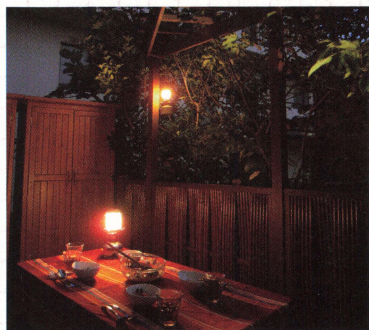
↑ タイル貼りのアプローチ。メンテナンスフリーです。

⑤ 家の外まわりを美しくする

家の外まわり（外構）やお庭を美しくすると、お庭ですごす時間が楽しくなり、お客様をさわやかに迎えることができ、道行く人の目をも楽しませ、街の美観にも役立ちます。美しい塀やフェンスで囲うのもよいですが、植物を効果的に使えば、四季の変化が楽しめるようになります。夜にライトアップすれば、防犯にも役立ち、すてきなナイトガーデンが楽しめます。

※門まわりについては、P.68 ～ 74「すてきなフロントガーデンに」参照。

→ ↑ 美しくリフォームした玄関まわり。リフォーム前は門から玄関が直接見えてしまう立地でしたが（右）、リフォーム後は、出島のようにデザインして玄関が直接見えないように（左）。

⑥ ライフスタイルの変化によって庭を改造する

↑ ← お子様のお砂場（上）。ウッドデッキはお子様の格好の遊び場（左）。

ライフスタイルの変化によって、お庭の用途も変わります。まだお子様が小さいうちは、お庭にお砂場をつくったり、ウッドデッキがお子様の遊び場になりますが、お子様が生長したら、ご夫婦の憩いの場としてお庭を利用することが多くなります。また、車を運転しなくなれば、不要になった駐車場をお庭として活用することも考えられます。

↑ 大人のためのナイトガーデン。

※ P.20 ～ 21 の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

狭いスペースやデッドスペースを快適な空間に！

リフォームで庭を有効活用

せっかくのお庭も、手つかずでは台無し。有効に使われていない空間 ― デッドスペース ― も、ちょっと工夫をすれば、すてきなお庭に変わります。また、玄関脇や隣地境界の狭いスペースも、ウッドデッキやガーデンルームを設置すれば、快適なアウトドアリビングに変身します。あきらめないで、リフォームにトライしましょう

レイアウト＝松本真由美（P.22 ～ 31）

リフォーム後は快適なウッドデッキに。夏の暑い日ざしはタープがやわらげてくれます。

Style 8

リフォームでホームパーティーが楽しめる庭に

敷地の広いT邸。南側庭の立地でした。Tさんのご要望は、

① もともと樹木が多く、管理の手間が大変なので、スッキリさせたい。

② 2階で店舗を営んでいるので、お客様とホームパーティーが楽しめる庭がほしい。

とのことでした。

そこで、「ホームパーティーが楽しめる庭」をテーマにプランニングしました。

リビング前に広々としたウッドデッキをつくり、バーベキューやホームパーティー時に便利なガーデンシンク（流し台）を設置しました。デッキの素材は、メンテナンスフリーのアイアンウッド（鉄のように硬い木材）です。

リフォーム前はお庭に出る気がしなかったTさんから、「庭に出るのが楽しみになった」「2階のお店からのながめも良くなり、お客様も完成を楽しみにしていました」とのうれしいお言葉をいただきました。

夏はタープ（日よけ）のあるデッキで、冬はサークル（円形）スペースのベンチで、ペットのネコちゃん3匹と日なたぼっこを楽しんでいただきたいです。

リフォーム後はサークルテラスと舗装材でローメンテナンスに。バーベキューやホームパーティーが楽しめます。冬はサークルスペースのベンチで日なたぼっこ。

リフォーム前の状態。

リフォーム前は樹木が茂っていました。

サークルがお庭に広がりを演出。

サルスベリが適度な木陰をつくってくれます。

手洗い用と散水用と蛇口がふたつあるので便利。

デッキ上に便利なガーデンシンクを設置。下は収納庫としても活躍。

千葉県T邸
施工面積＝約45坪
施工期間＝約21日
費用の目安＝約360万円
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
柏展示場店（P.94参照）
プランナー＝小野寺 滋子さん

Planner's comment

小野寺 滋子さん

施工後は、Tさんやご友人と「どんなお花を次に植えようか」と盛り上がっているとのお話を聞きました。広すぎて管理に手間取っていたお庭が、大人数でも広々使える憩いのスペースに生まれ変わることができてよかったです。

Style 9

笑顔があふれるもうひとつのリビングを実現

リフォーム後は、もうひとつお部屋が増えた感じがします。

リフォーム前は雑然としていましたが（左）、リフォーム後はスッキリと（右）。

今まで使用してきたウッドデッキが腐り、新しいテラスをとご相談にこられたNさん。新しいテラスは、お手入れのいらない人工木材デッキと、以前からあこがれていたガーデンルームを採用してのお庭のリフォームとなりました。

花壇も人工デッキの高さまで上げ、常に視線の中に入るようにとお手入れのしやすいようにしました。

ご家族の楽しみであったバーベキューも耐火（たいか）レンガでコンロを設置し、みんなが集まり楽しめるスペースにしました。

Planner's comment

内田（うちだ）　誠（まこと）さん

笑顔があふれるお庭に…。そう想いをこめてデザイン・施工させていただきました。これからはご家族の大事な場所としてすごしていただければ幸いです。

兵庫県N邸
施工面積＝約10坪
施工期間＝約20日
費用の目安＝約250万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ西神戸店
（P.94参照）
プランナー＝内田（うちだ）　誠（まこと）さん

↑ リフォーム後はイメージが一新しました。

↑ リフォーム前の状態。

↑ お庭もきれいになり、ワンちゃんも大喜びです。

作成＝（株）ひまわりライフ

← 自然石乱貼りのテラスからガーデンルームへと続いていきます。

狭いスペースやデッドスペースを快適な空間に！

リフォームで庭を有効活用

※使用素材
ガーデンルーム・人工木材デッキ・ファニチャー類＝LIXIL（TOEX）「自然浴家族ジーマ　1.5間8尺アイボリーホワイト＋バロックチーク」・「樹の木Ⅲ」・「ミッドテリア　レウーナテーブル・レウーナチェア・ラグC09」

← ご家族が笑顔ですごせる大切な空間ができました。休日は草花を愛でながら、ブランチを楽しむスペースに。お友達を呼んでくつろげるカフェスペースにもなっています。

Style 10

ヨーロピアンのエクステリアと雑木の庭にリフォーム

After

リフォーム後は雑木のお庭。樹木は左からシラカシ、イロハモミジ、シマトネリコ、コナラなど。

表側はレンガやロートアイアンのフェンスを使用したクラシカルなヨーロピアン調。

Before

リフォーム前のお庭。

細い道路に面した南向きの中古物件を購入されたFさん。北側は田んぼの立地でした。Fさんのご要望は、

①セミクローズドスタイルのエクステリア（外構）を。

②駐車スペースを使いやすいように。

とのことでした。

南向きのかなり広いお庭なので、大きなコストをかけることなく、ある程度見栄えのある空間にするため、石材と植栽を多用しました。駐車スペースにあるカーポート（屋根付き駐車場）も見どころです。

表に面した道路幅が広くないので、立地条件に合ったカーポートを選択しました。うしろ2本足タイプで2台駐車可能なので、スペースをムダにすることなく入出庫が便利です。

表側のエクステリアを見ると、レンガやロートアイアン（鍛鉄）調のフェンスを使用したクラシカルなヨーロピアン調ですが、中に入れば、雑木を多く取り入れた自然のお庭を体感できる、おもしろい組み合わせで構成されています。

アプローチやお庭の景石（庭の景観になる石）として使用した石材は、地元の砕石山からみずからの足を使って採ってきたもの。地産地消でいて他にないオリジナルのデザインです。地産地消で材料コストを落とせるぶん、アプローチにも手をかけて、あまりみられない天然石を組み合わせた乱貼り施工しました。

アプローチやお庭の景石は、地産地消でオリジナルのデザイン。

玄関から駐車場に続くご家族専用の通路にはアンティークレンガを。

Before

岡山県Ｆ邸
施工面積＝約 50 坪
施工期間＝約 50 日
費用の目安＝約 240 万円
設計・施工＝エクスライフ（P.95 参照）
プランナー＝三井　勇樹さん

After

リフォーム前の駐車スペース。

リフォーム後は便利なカーポート。

狭いスペースやデッドスペースを快適な空間に！

リフォームで庭を有効活用

玄関から駐車場に続くご家族専用の通路には、アプローチに乱貼りした石材との相性を吟味してアンティークレンガをチョイス。アンティークレンガについても地元備前で景観用にリサイクルされた耐火レンガを選びました。色合い・風合いともに年月を感じさせるオンリーワンの逸品で、緑との相性もバッグンです。

土間（床面）は、最終的にすべてダイコンドラで緑化する予定です。

↑↓ リフォーム前のお庭全景。

↑ リフォーム後のお庭全景。横に長いお庭は、ガーデンルームと芝生ゾーンでメリハリをつけています。

福岡県Ｙ邸
施工面積＝約 20 坪
施工期間＝約 20 日
費用の目安＝約 50 万円（デザインウォールのみ）
設計・施工＝グランド工房久留米店（P.95 参照）
（P.95 参照）
プランナー＝中村（なかむら）　朝一（ともかず）さん

※使用素材
ガーデンルーム＝ LIXIL（TOEX）「Zima（ジーマ）」
洋瓦＝オンリーワン「カワラインプロバンス」

Style 11 ガーデンライフを楽しむための庭づくり

Ｙさんは「テラスをもっと有効に使うためにガーデンルームをつけたい。でも、お隣からの視線が気になってゆっくりできない」とお悩みでした。

そこで、雑貨や植物がお好きなＹさんに、ガーデンルームからのながめを楽しんでいただくために、目隠しの機能を兼ね備えたデザインウォール（装飾性のある壁）をご提案しました。

ウォールには、当社（グランド工房）オリジナルの「アートワーク仕上げ」を施（ほどこ）してメッセージを入れ、ガーデンルームで夜も楽しんでいただけるように、明かりも取り込みました。

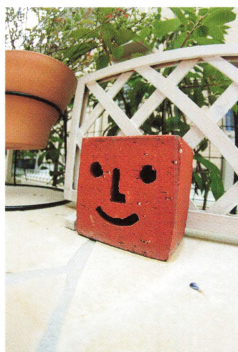
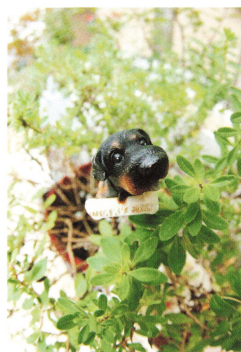
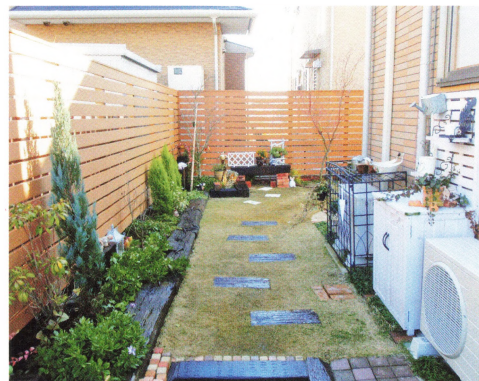
リフォーム後は、Ｙさんのコレクション雑貨と相性（あいしょう）の良いガーデンに仕上がりました。

Planner's comment

中村（なかむら）　朝一（ともかず）さん

Ｙさんの個性・好みに合った「楽しめるお庭」にしようと、ガーデンルーム前の目隠しは、オブジェとしてながめて、またディスプレイとして活用できるように考えました。Ｙさんが集められている雑貨も見ながら、ガーデンルームで楽しい思い出づくりをしていただきたいと思います。Ｙさん、楽しみながらつくらせていただき、ありがとうございました。

↑Yさんのコレクション雑貨と相性の良いガーデンに。

←デザインウォールに取り付けたレッドシダー（米杉材）製扉。閉めた状態（上）と開けた状態（下）。

↑Yさんが集められていた楽しい雑貨たちがお出迎え。

↑→メインガーデン（主庭）への入口も木樹脂フェンスでプライベート空間に。

狭いスペースやデッドスペースを快適な空間に！

リフォームで庭を有効活用

←デザインウォール。扉内の上部には照明が隠しこんであり、夜になると秘密の小部屋からの明かりが照らされ、癒しの演出に。

Style 12

駐車スペースをすてきな庭にリフォーム

➡ リフォーム前は駐車場として使われていました。

➡ 門まわりも緑いっぱいに。

➡ 常緑樹と落葉樹を組み合わせ、四季の移ろいを感じることができます。

⬆ リフォーム後はレンガ敷きのアプローチ。脇には色とりどりのグランドカバーを。

➡ クラッシュレンガ敷きの下には、雑草対策のため防草シートを貼っています。

⬆ ガーデンルームからのながめ。

⬆ お庭から見たガーデンルーム。

➡ 樹木や自然石を使い、できるだけナチュラルな仕上げを心がけました。

Yさんのご要望は、「駐車場として使用していたスペースを庭として使えるようにしたい」とのことでした。

お庭への動線としてガーデンルームを取り付け、植物が好きな奥様のために樹木とグランドカバー（下草）で緑いっぱいにし、四季を楽しめるナチュラルガーデンへと生まれ変わりました。

※使用素材
ガーデンルーム＝LIXIL「暖蘭物語」

福岡県Y邸
施工面積＝約36坪
（掲載写真部分）
施工期間＝約35日
設計・施工＝グランド工房
西福岡店
（P.95参照）
プランナー＝松永　哲郎さん

Planner's comment

松永　哲郎 さん

今回は「緑いっぱいのお庭」をテーマにデザインしました。すべてを私たちでつくりこむのではなく、植物の好きな奥様に、ずっと楽しんでガーデニングをしていただける、四季を感じられる空間に仕上がりました。

リフォーム後は沖縄風リゾートガーデンに。

リフォーム前は、ツリバナとマユミしかないお庭でした。

ドラセナとアジアン風の壷。
2階から見た状態。

縦格子の柵や角柱などの立ち上がりものを配置して、全体のバランスに配慮。鉢植えは南国を思わせるドラセナ、下草はセトクレアセア、ヒューケラなど。

Style 13 沖縄風リゾートガーデンにリフォーム

Oさんのご要望は、①植栽が2本（ツリバナ・マユミ）しかなかった坪庭を、沖縄風リゾートを感じられる空間にしたい。②雑草対策を考えてほしい。とのことでした。

Oさんがプライベートでもよく旅行されるという沖縄にこだわり、素材も琉球石灰岩などできるだけ沖縄産のものを選びました。

平面的になりがちな空間ですが、縦格子の柵や角柱などの立ち上がるものを配置して、全体のバランスをとりました。

狭いスペースやデッドスペースを快適な空間に！
リフォームで庭を有効活用

埼玉県O邸
施工面積＝約3坪
施工期間＝約5日
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
さいたま展示場店（P.94参照）
プランナー＝高橋　章友さん

Planner's comment

高橋　章友さん

プライベートでもよく沖縄旅行をされるとうかがっていたので、できるかぎり沖縄にこだわりました。1階から見ても2階から見ても◎な空間になったと思います。

使えないスペースを有効利用するアイデア

玄関脇や隣地境界の狭いスペースなど、どんな狭いところでも、アイデアと工夫しだいで、すてきなお庭にリフォームできます。ウッドデッキやガーデンルームを活用すれば、土のままのお庭もすてきなアウトドアリビングに生まれ変わります。ベランダや屋上、駐車場の上なども、リフォームすれば快適な空間に。お庭のリフォームの可能性は無限に広がります。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&Gアカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.32～33）

❶ 庭にウッドデッキをつくる

ウッドデッキとは、ウッド（木材）でつくった台のことで、通常、建物からお庭に張り出す形でつくられます。土のままのお庭でも、リビング前にウッドデッキをつくると、すてきなアウトドアリビングに。家族団欒の場に、お子様やペットの遊び場に、物干しスペースにと、いろいろな用途に利用できます。

庭の面積＝約５坪

↑→ リフォーム前は芝庭でお手入れが大変で、ブロック塀の高さが足りないため、洗濯物などが丸見えでしたが（左）、リフォーム後は、芝庭を全面アイアンウッドのデッキに（右）。アイアンウッド＝三樂「タイネンアイアンウッド」

❷ 庭にガーデンルームをつくる

ガーデンルームはサンルームともよばれ、密閉されているので、ウッドデッキよりもアットホームな雰囲気です。通常、建物からお庭に張り出す形でつくられ、リビング前にガーデンルームをつくると、もうひとつお部屋が増えた感じがします。ガラス窓を開閉すれば、夏は涼しい風でさわやか、冬は陽だまりで暖かいリビングに。ガーデンルームは、タイル貼りのテラスやウッドデッキの上に施工します。

庭の面積＝約６坪

↑→ リフォーム前は土のままのお庭でしたが（左）、リフォーム後は、ガーデンルームで快適な空間に（右）。ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ジーマ」

❸ ガレージの上にウッドデッキをつくる

意外に見落とされがちなガレージの上のスペース。ウッドデッキをつくれば、もうひとつのお部屋として活用でき、車を雨水の汚れから守ることにもなります。建物建築前からプランするのがベストですが、後からリフォームでつくることもできます。ただし、構造物なので、基礎はしっかりつくり、耐久性のある素材を使うことをおすすめします。

庭の面積＝約４坪

↑→ リフォーム前は青空ガレージでしたが（左）、リフォーム後は、快適で便利な青空リビングに（右）。車の汚れによるストレスも解消。上り下りは左手の階段から。

❹ デッドスペースを有効利用する

庭の面積
＝約1.5坪

➡ リフォーム前は幅 1.2m ぐらいの狭い通路で、ほとんどデッドスペースでしたが（右）、リフォーム後は美しい花壇に（左）。いったんレンガを全部敷き、あとで抜くのがコツです。

玄関脇や建物とフェンスの間の狭いスペースは、どこのお宅でもデッドスペース（使えないスペース）になりがちです。狭いので雑草の手入れもできず、管理も大変です。レンガ・石・舗装材などでリフォームして、有効利用しましょう。

❺ 舗装材でメンテナンスフリーの通路をつくる

庭の面積
＝約１坪

➡ リフォーム前は雑草だらけの通路でしたが（右）、リフォーム後は真砂土舗装材でスッキリと（左）。さらにレンガで縁どり、ツル性植物をフェンスにからませて。

よく見かける隣地境界の狭い通路も、デッドスペースになりがちです。雑草が生えても、狭くて手入れがいきとどかないスペースも、真砂土舗装材などで仕上げると、メンテナンスの必要もなく、美観も保てます。

❻ 小スペースをウッドデッキで有効利用する

庭の面積
＝約４坪

➡ リフォーム前は幅 1.2m ぐらいの狭いお庭で、コンクリートの濡縁があるだけでしたが（右）、リフォーム後はアイアンウッドのデッキとベンチ兼収納庫を設置（左）。ふとんを干す手すりまでアイアンウッドでつくりました。

どんなに狭いお庭でも、ウッドデッキを施工することにより、有効なスペースに生まれ変わります。狭いからといってあきらめずに、リフォームするとよいでしょう。

❼ 狭い通路を快適な自転車置場にする

庭の面積
＝約１坪

➡ リフォーム前は、エアコン室外機が道路寄りにあったため、自転車を入れようとするとハンドルがつかえて中に入れられず、大変不便でしたが（右）、リフォーム後は快適な自転車置場に（左）。室外機を奥の庭側へ移動し、歩きやすいように、御影石のピンコロ舗装にしました。自転車や人がラクラク出入りできます。

隣家との境界通路の幅は建築基準法で 60cm 以上と決められていますが、エアコン室外機などの障害物があると、人やお自転車が通りにくくなります。建築時から注意していればベストですが、住んでからはじめて不便なことに気づくことが多いものです。室外機などは移動し、舗装材で歩きやすくするとよいでしょう。

※ P.32 ～ 33 の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

家族が憩う快適アウトドアリビング

ガーデンルームで庭にもうひとつの部屋を

最近大人気のガーデンルーム。リビングの前につくると、第二のリビングに。もうひとつお部屋が増えた感じがします。ティータイムや趣味の場にしてもよし、愛犬との遊び場にしてよし、使い方はいっぱいあります。

レイアウト＝梁川綾香（P.34～42）

Style 14

ガーデンルームで家族団欒の庭を実現

After

↑リフォーム後の外観。塗り壁とハイパーテーションの組み合わせで道路から目隠しし、お家の雰囲気とよくマッチ。

Fさんのご要望は、

① ガーデンルームを中心とした庭。
② 道路からの目隠し。
③ 舗装スペース。

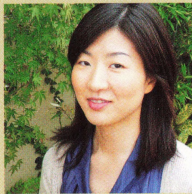
とのことでした。

そこで、ガーデンルームを玄関ポーチと一体化し、出入りしやすくなったガーデンルームを中心に、舗装や目隠しなど全体的にナチュラルに仕上げ、Fさんのお悩みを一掃しました。

リフォーム前と比べると、お庭が本当に明るくすてきになりました。ご主人のこだわりがあったベンチも長くしたので、ご家族全員ゆったりと座れます。

もともとあった樹木も良い感じで残すことができ、お庭に木陰をつくってくれました。

道路からの目隠しも、塗り壁とハイパーテーション（高い仕切り塀）の組み合わせで、お家の雰囲気とマッチし、きれいに仕上がっています。

Planner's comment

日吉　祐子さん（左）
高尾　百合子さん（右）

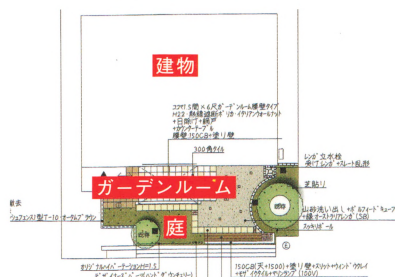
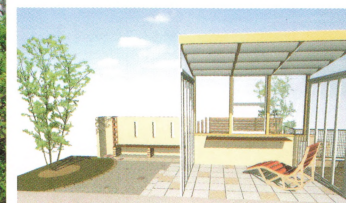
いつも元気なFさんのお子様RくんとRちゃんも、お庭完成後は、気持ちの良い芝の上でコロコロ転がってくれています。雰囲気のある心地良い空間をつくることができて、とてもうれしく思います。

⇧ガーデンルーム内部。舗装や目隠しなど全体的にナチュラルな仕上げに。ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ココマ」

⇩オーニング（日よけ）で夏の日ざしをやわらげて。

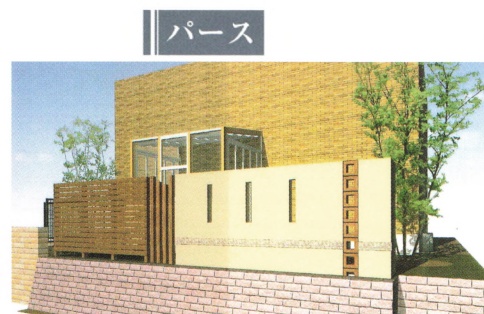
Before

⇧リフォーム前のお庭。

平面図

作成＝遊庭風流

Before

⇧リフォーム前の外観。

⇧ご主人こだわりの長いベンチ。

⇧木陰でくつろぐFさんご家族。

⇧立水栓（りっすいせん）もおしゃれにリフォーム。

福岡県F邸
施工面積＝約10坪
施工期間＝約30日
設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）
プランナー＝日吉（ひよし）　祐子（ゆうこ）さん
高尾（たかお）　百合子（ゆりこ）さん

Style 15

老朽化したウッドデッキをガーデンルームにリフォーム

After

リフォーム後はガーデンルームでスッキリと。床面はタイルで仕上げ、タイルテラスは窓のサッシ下まで上げ、腰壁にカウンターテーブルを設置。工事の記念にご家族の手形を。屋根付きなので、屋外でも快適に楽しめます。手前の樹木はシンボルツリーのシマトネリコ株立ち。
ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ココマ　サイドスルー腰壁タイプ」

パース

Before

リフォーム前の老朽化したウッドデッキ。

高台でとても景色の良いM邸。リフォームにあたってのMさんのご要望は、

①老朽化の進んだウッドデッキを撤去して、家族や友人と楽しめる空間がほしい。

②大きく育った生垣を撤去し、ほどよく景色も楽しめる、メンテナンスのかからない目隠し。

③雑草対策。

とのことでした。

休日にはお友達とお庭でバーベキューをすることも多いM邸。テーブルやイスが置きやすいようにテラススペースを広めにとりました。

雑草対策を兼ねて、山砂の洗い出し・カラーコンクリート（床面や壁面のコンクリートに型を押し当てて造形する方法）・自然石で、お庭の床面全体を舗装しました。

お庭はR（曲線）を基調にデザインし、カラーコンクリートと山砂洗い出しのやわらかな色合いで、かわいらしくまとめました。

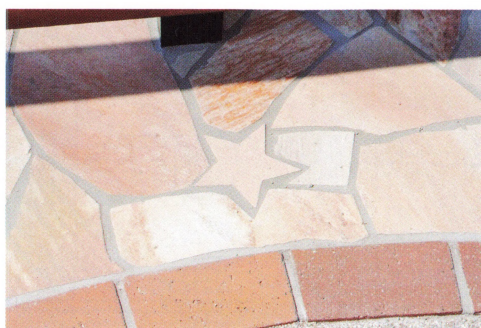
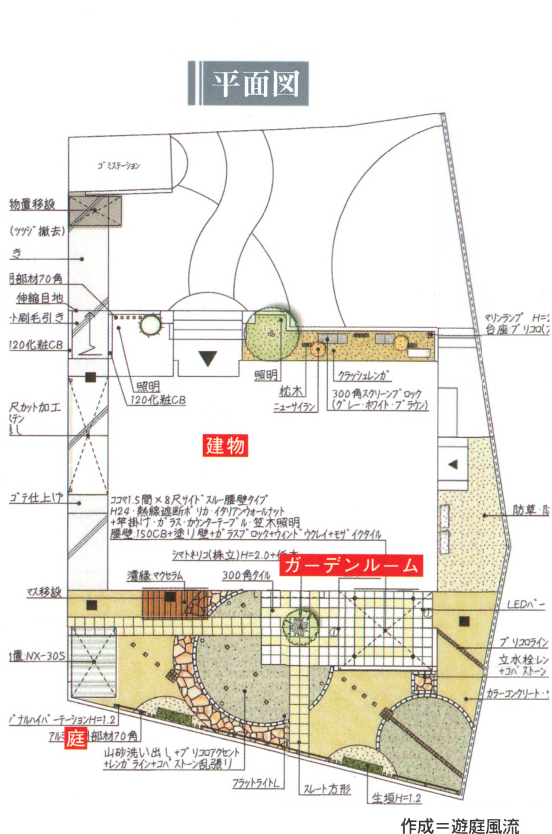
濡縁デッキは、ちょっと腰掛けて、気の合う方とゆっくりお話をしていただければと思って、設置しました。ぜひとも永く使っていただきたいです。

夜は、Rにデザインした舗装部分が楽しめるようにと、5個の照明を、円になるように舗装面に埋め込みました。

横張りのウッドフェンスと角柱でさりげなく目隠し。

便利なガーデンシンクで、
バーベキューもバッチリ。

遊び心で床面に星の模様を。

平面図

作成＝遊庭風流

家族が憩う快適アウトドアリビング

ガーデンルームで庭にもうひとつの部屋を

福岡県Ｍ邸
施工面積＝約 37 坪
施工期間＝約 60 日
費用の目安＝約 400 万円
設計・施工＝遊庭風流（P.95 参照）
プランナー＝山田　勇志さん
高尾　百合子さん

Before

お庭の全景。リフォーム前は土のお庭で生垣も大きく茂っていましたが（上）、リフォーム後は、山砂洗い出し・カラーコンクリート・自然石で床面全体を舗装（左）。濡縁デッキを設置（写真手前）。

暗い夜でもお子様が安心して階段を使えるようにと、タイルテラスの階段部分にも、フラットライトとしてＬＥＤ（発光ダイオード）バーを各１ヶ所ずつ配置しました。あたたかな明かりがとても心地良く、ついついゆっくりしてしまいそうなＭ邸です。

Style 16

ガーデンルームから広がる庭

↑リフォーム後はスッキリとして明るいお庭に。樹木はハナミズキ、ブルーヘブン、レイランディ、ゴールドクレストなど。

→リフォーム前は樹木が生い茂り、お庭を暗くして使えないスペースでした。

パース

作成＝（株）ひまわりライフ

お庭の使い方に悩んでいたNさん。既存のストーンテラスを使い、ガーデンルームを取付けたいと計画をされていました。しかし、ガーデンルームのまわりには生い茂った樹木があり、お庭に出ることができませんでした。

そこで、使える樹木を選別して、さらに剪定（せんてい）して樹形（じゅけい）をスッキリ整えました。お庭が明るくなりましたが、お隣や道路からお庭が見えるので、道路からの目隠しは樹木を配置して、お隣側にはメンテナンスがいらない樹脂フェンスを取り付けることで解消できました。

お庭のコーナーに奥様のご希望だった小さな池をつくり、その中にご主人が大変気に入られているガラス角柱（かくちゅう）を埋め込みました。アルミゲートに埋め込んだLED（発光ダイオード）ライトのやさしい光が、夜になるとガラス角柱を照らしてくれて、幻想的な空間を演出してくれます。

Planner's comment

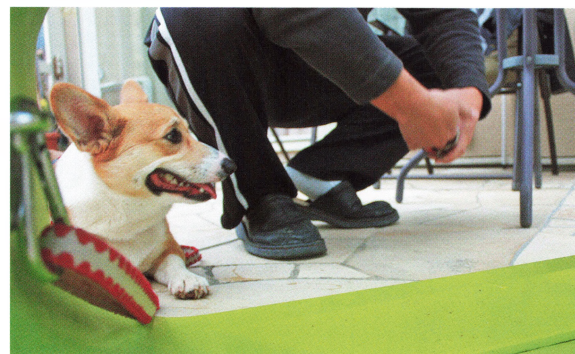
杉野（すぎの） 英一（えいいち） さん

使ってなかったスペースが使えるようになり、お庭に出る機会が増えてよかったです。

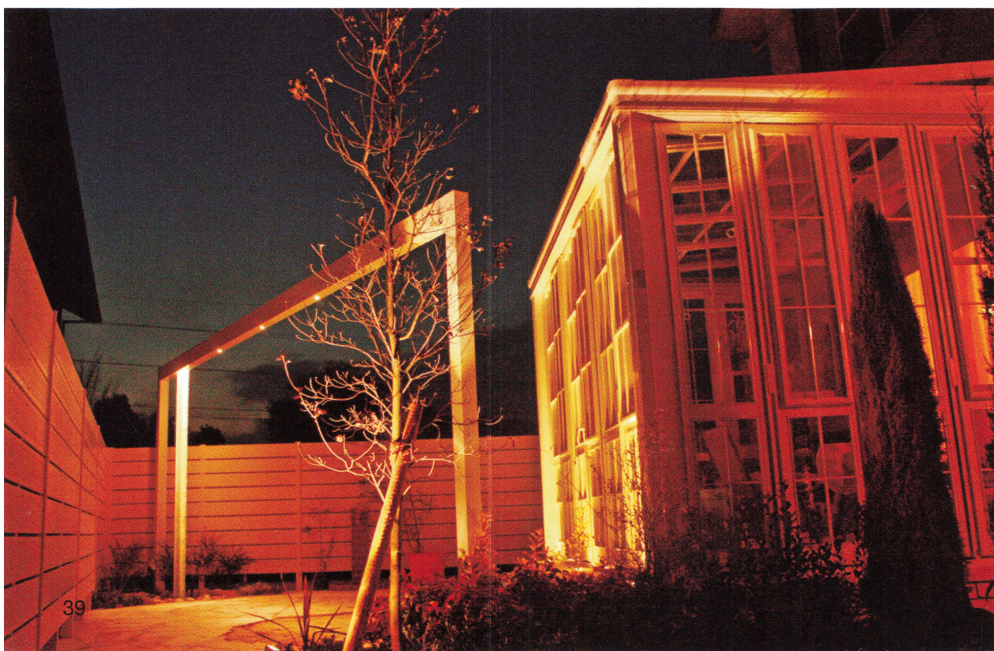
↑リフォーム後は、管理がしやすい樹木に植え替えました。

↑リフォーム前は、茂った植木が道路までのびています。

↑完成記念にＮさんのご家族と記念撮影。

↑お庭のコーナーには自然石のゴロタ石でつくった奥様お気に入りの小さな池があります。夏には噴水(ふんすい)が上がり、水の音を聞きながらガーデンルームですごされる予定です。

↑ワンちゃんもガーデンルームがお気に入り。

山口県Ｎ邸
施工面積＝約 15 坪
施工期間＝約 30 日
費用の目安＝約 400 万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ
山口店（P.94 参照）
プランナー＝杉野(すぎの) 英一(えいいち)さん

家族が憩う快適アウトドアリビング
ガーデンルームで庭にもうひとつの部屋を

↑床に埋め込んだ LED ライトがガーデンルームをやさしく包み込んでくれます。

←夜のお庭の全景。電球色の LED がお昼とちがった顔を演出。

※使用素材
ガーデンルーム・アルミゲート＝LIXIL（TOEX）「暖蘭物語」・「+G（プラスジー）」ガラス角柱＝ZERO「インゴット」目隠しフェンス・ライト＝タカショー「モクプラボード」・「パワー LED アップライト・フラットライトL」

リフォーム前のお庭。

リフォーム後の正面全景。ガーデンルームの腰壁は、建物外壁に合わせてレンガタイルに。樹木は、シマトネリコだけ残して撤去。ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ココマ腰壁タイプ」

家族が憩う快適アウトドアリビング
ガーデンルームで庭にもうひとつの部屋を

遊び心でかわいいオブジェを設置。

ガーデンルームの内部は快適空間。ファニチャーを置いて、第二のリビングに。

曲線を取り入れることでお庭に広がりを。

Style 17 ガーデンルームで快適な庭にリフォーム

Kさんからは「既存ウッドデッキを撤去し、ガーデンルームを取り付けたい」というご相談をいただきました。

そこで、腰壁（こしかべ）タイプのガーデンルームをご提案しました。腰壁は建物外壁（へきがい）に合わせて、レンガタイルで仕上げました。

当初はガーデンルームのみの工事予定でしたが、既存のコニファー（針葉樹（しんようじゅ））の生垣（いけがき）があるため日陰になりやすく、見た目にもあまり好ましくなかったので、樹木は、シマトネリコだけ残して思いきって撤去しました。結果的には、中からも見ても外から見ても、日が入りとても明るく、ずいぶん良くなったと思います。

Planner's comment

秋山（あきやま）　由貴（ゆき）さん

K邸のガーデンルームは前面道路に面するため、ルーム内からはもちろんのこと、ファサード（正面）からの景観にも配慮、植栽計画もふくめてデザインしました。今回、唯一残した大きなシマトネリコに、新たに加わった木々、春の新芽が待ち遠しいですね。

福岡県K邸
施工面積＝約7坪
施工期間＝約14日
費用の目安＝約210万円
設計・施工＝グランド工房筑紫野店
（P.95参照）
プランナー＝秋山（あきやま）　由貴（ゆき）さん

リフォーム後のお庭全景。ガーデンルームですてきな庭空間に。

リフォーム前のお庭全景。

花壇にはカリブラコア、コルディリネなどを植えて華やかに。

目隠しも兼ねたデザインウォールをながめながら、夜のやすらぎの一時を演出。

内壁にもタイルを貼り、最高の空間演出を。ご夫婦の会話も楽しくなる空間へ。

アイボリーが浮き上がり、あたたかみのある夜の空間を演出。

Style 18 ガーデンルームですてきなプライベート空間に

ガーデンルームを中心としたリフォーム工事の例。リフォーム前は芝生と雑草の入り混じる広いスペースで、使用していない部分も多くあり、有効利用できていない状態でした。

白を基調としたT邸の建物に合わせて、ガーデンルーム・タイルテラス・デザインウォール（装飾性のある壁）など、あたたかみのあるアイボリー色でお庭をコーディネート。

細部までこだわり、とてもすてきな空間になりました。また、ライトアップにより、Tさんご家族が集い、楽しめるすてきな夜の空間が生まれました。

福岡県T邸
施工面積＝約45坪
施工期間＝約30日
設計・施工＝グランド工房
大牟田店
（P.95参照）
プランナー＝益永　康司さん

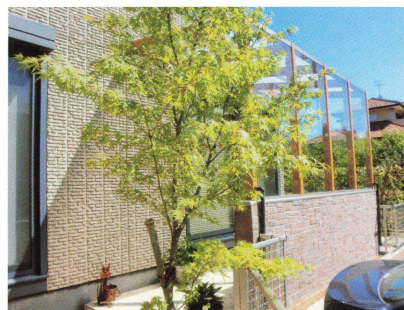
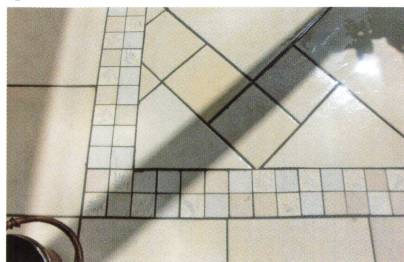
Planner's comment

益永　康司さん

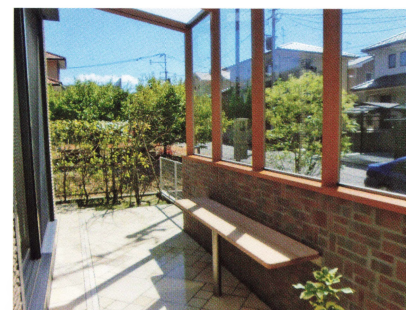
ガーデンルームと雑草対策でご依頼をいただいたTさん。ご提案時に「せっかくだから、こだわりたい！」というお言葉をいただき、ガーデンルームからの目線・動線・雰囲気などひとつひとつをTさんと一緒に考えながら、プランをつくりあげていきました。Tさん、お手伝いさせていただき、ありがとうございました。

リフォーム前の外まわり。

リフォーム後の外まわり。

ガーデンルーム全景。ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ココマ　腰壁タイプ　テーブル付き」

モミジでごく自然に目隠し。

ガーデンルーム内部にテーブルを設置。

こだわったタイルデザイン。同じ種類同じ色で、張り方・サイズを変えて空間に仕切りを入れました。

防草対策と自然石の通路。

カフェテラスとして。

Style 19

ガーデンルームでプライベートガーデンを実現

前面道路からの目隠しと、お庭の改善をご希望のMさん。目隠しと空間の仕切りとして、腰壁付きガーデンテラスをご提案しました。

リフォーム前は、リビング側のカーテンを開けることができませんでしたが、リビングと道路の間にタイルテラスの空間をつくることにより、カーテンを開けて楽しめるようになっています。

植栽を配置変換し、種類を変えることで、目隠しも兼ねて植栽を楽しめるようにご提案しました。色彩も大人な感じのトーンで明るくなるようにしています。

福岡県M邸
施工面積＝約15坪
施工期間＝約28日
費用の目安＝約240万円
設計・施工＝グランド工房八幡店
（P.95参照）
プランナー＝引地　功一さん

Planner's comment

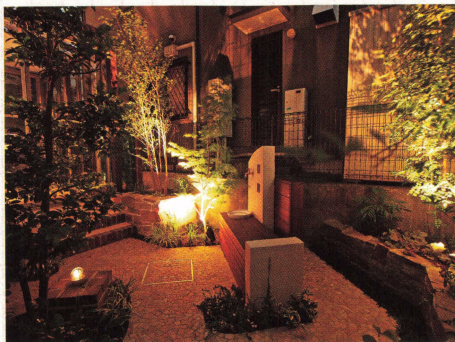
引地　功一さん

街並みに溶け込むように、色彩に注意してMさんと打ち合わせして、プランしました。素材や植物の経年変化が楽しめるよう心をこめて…。

ガーデンルームを生かすアイデア

ガーデンルームは第二のリビング。家族の憩いの場であり、読書やティータイムを楽しんでもよし、ペットと遊んでもよしと、多目的に使えますが、夏場は非常に暑くなります。快適なガーデンルームにするためには、日よけ対策がポイントになります。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&G アカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.43）

① 樹木で木陰をつくる

↑ 夜のライトアップで樹木の影が映り幻想的な雰囲気に。

← ガーデンルームのまわりに高低差のある樹木を植栽。樹木は、サンゴカク、ヒメシャラ、サカキなど。

ガーデンルームをただ設置しただけでは、夏場は非常に暑く、快適ではありません。まわりに樹木を植えて、木陰をつくるとよいでしょう。植える樹木は、常緑樹でも落葉樹でもお好みのものでかまいません。常緑樹なら、夏は日よけになり、一年中緑が楽しめます。落葉樹なら、夏は日よけになり、冬は葉が落ちてあたたかい日ざしを入れることができます。ガーデンルームのまわりに樹木を植えて、夜にライトアップすると、樹木の影が映って幻想的な雰囲気になり、昼とは別の表情のお庭が楽しめます。

② オーニングで夏の日ざしをやわらげる

↑ オーニングをあけると、あたたかい日ざしが入ります。

↑ オーニングをしめると、暑い日ざしがやわらぎます。

ガーデンルームをつくる場合、メーカー品のガーデンルームがよく使われますが、オーニング（可動式の日よけ）はついていないので、オプションで取り付けることになります。オーニングをあけるとあたたかい日ざしが入り、オーニングをしめると、暑い日ざしをやわらげることができます。通常、オーニングはガーデンルームの内側に取り付けますが、最近はガーデンルームの外側につけるオーニングも出ています。その方が日ざし効果が高くなります。

オーニング…可動式の日よけ。手動式と電動式がある。日ざしの強い窓やウッドデッキに面した窓の上に取り付けられる。ヨーロッパでは日常的に使用されており、屋外生活を彩る大切な装置となっている。取り付ける建物外壁の補強が必要になる場合があるので注意が必要。

※P.43の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94参照）の設計・施工によるものです。

使い勝手の良い庭に変身！

暮らしやすい庭にリフォーム

住んでみてはじめてわかること。それは暮らしやすさや使い勝手の良さです。茂りすぎた植栽や雑草などのメンテナンスの手間、動線の悪さはストレスのもとです。そんな時は、思いきってリフォームして、暮らしやすいお庭を実現しましょう。

レイアウト＝梁川綾香（P.44～49）

After

↑リフォーム後は、樹木の緑がよく映え、まわりからも注目されるお庭に。リビング前にウッドデッキ、芝生のお庭には自然石のテラスをつくり、ご家族が憩えるように。

Style 20

白いアメリカンフェンスで生まれ変わった庭

Tさんのご依頼は、「敷地の拡張にともない、外構をリニューアルしたい」とのことでした。

奥様のあこがれがアメリカンフェンスでしたので、ご希望におこたえし、かつ、建物の雰囲気に合うように、プランを作成しました。

リフォーム前は樹木が鬱蒼と生い茂っていましたので、樹木を取り除き、白いアメリカンフェンスでスッキリとリフォームしました。

重厚感のあるシンメトリー（左右対称）の角柱と奥様ご希望のアメリカンフェンスがポイントです。

リビング前にウッドデッキを設置し、芝生のお庭には自然石でテラスをつくり、ご家族が憩えるように。園路は自然石平板でつくり、立水栓もレンガ製のおしゃれなものにしました。

リフォーム後は、樹木の緑がよく映え、まわりからも注目されるお庭に生まれ変わりました。

Planner's comment

小野寺　滋子 さん

「今まで、和をイメージする樹木で囲われてお庭が薄暗かったり、イメージしているお庭とはかなりちがっていたため、お庭に出てなにかしようと思えなかった」という話を聞き、ぜひTさんのイメージ通りに、明るくて楽しんでいただけるようにしたいと思いました。リフォーム完了後は、奥様が一生懸命草花の手入れをされている姿を見て、「よかった」と思いました。

↑園路は自然石平板、立水栓もレンガ製にリフォーム。

↑↓リフォーム前のお庭。樹木が鬱蒼と生い茂っていました。

←↑外まわりのリフォーム前（右）とリフォーム後（左）。重厚感のあるシンメトリーの角柱と奥様ご希望のアメリカンフェンスがポイント。

千葉県Ｔ邸
施工面積＝約 25 坪
施工期間＝約 30 日
費用の目安＝約 180 万円
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
柏展示場店（P.94 参照）
プランナー＝小野寺（おのでら） 滋子（しげこ）さん

←↑外まわりのリフォーム前（右）とリフォーム後（左）。鬱蒼と生い茂っていた樹木を取り除き、白いアメリカンフェンスでスッキリと。

リフォーム前のお庭。道路から丸見えでした。

リフォーム後は、ウッドフェンス・ウッド角柱・塗り壁で、道路からの視線をカット。

タイルテラス全景。お子様がのびのび遊ぶことができる芝生スペースを確保しつつ、ガーデンテーブルとイス2脚を置けるように。

塗り壁・ウッド角柱・コニファー（針葉樹）と変化をつけて。

お庭のコーナーにはシンボルツリーの常緑ヤマボウシを植栽。

適度なすき間と飾り窓で風通しの良さを確保。

Style 21

明るいタイルテラスにリフォーム

千葉県Ｋ邸
施工面積＝約 10 坪
施工期間＝約 15 日
費用の目安＝約 150 万円
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
柏展示場店（P.94 参照）
プランナー＝小野寺　滋子さん

Ｋ邸には通りに面した細長い芝生のお庭がありました。「通りからの視線を気にせず、幼い子どもが道路に飛び出さないような庭にしたい」というのが、リフォームにあたってのＫさんのご希望でした。

そこで、「ほどよく外からの視線をさえぎった明るいテラス」をテーマにプランニングしました。

お子様がのびのび遊ぶことができる芝生スペースを確保しつつ、ガーデンテーブルとイス２脚を置けるタイルテラスをつくりました。

タイルテラスは、お子様がケガをしないように、コーナー部分の角をとって曲線にしています。

道路からの視線は、ウッドフェンス・ウッド角柱・塗り壁で目隠ししました。ウッドフェンスは横貼り、角柱は間隔をあけ、塗り壁には飾り窓をあけてあるので、圧迫感もなく、風通しの良さを確保できました。

Planner's comment

小野寺　滋子さん

ご相談をいただいた時は、まだお子様がお腹の中にいたので、「これから生まれる子が安全で快適に遊べるように！」という思いから、お庭をリフォームされたＫさん。ご夫婦のお子様への愛情がつまったお庭になりました。

Style 22
たっぷり収納できるウッドデッキ

After

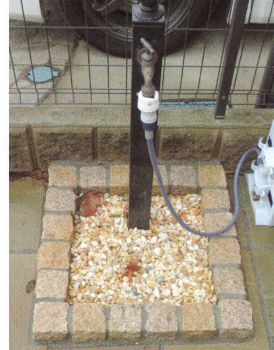
リフォーム後。茂っていた植栽を整理し、床面に平板を敷いてローメンテナンスのお庭に。

Before

リフォーム前。リビングの前にフェンスがあったため直接お庭に出られず、植栽は雑然としていました。

リビングからウッドデッキをのぞんで。高さがあるため、道路からの視線も気になりません。

目隠しのウッドフェンスもアイアンウッド。

ウッドデッキの下は収納庫。地面からリビングまでかなり高かったため、収納スペースも大きくとることができました。

立水栓。ピンコロ石で縁どり、水受けは化粧砂利で。

千葉県Ｔ邸
施工面積＝約 10 坪
施工期間＝約 10 日
費用の目安＝約 100 万円
設計・施工＝スペースガーデニング（株）柏展示場店（P.94 参照）
プランナー＝村川　司さん

使い勝手の良い庭に変身！暮らしやすい庭にリフォーム

Ｔさんのご要望は、
① 使い勝手の良い庭にしたい。
② 手間のかからない庭に。
③ 植栽スペースの整理。
④ 収納スペースをつくりたい。
とのことでした。

リフォーム前は、リビングの前にフェンスがあったため直接お庭に出られず、植栽は雑然としていました。

そこで、フェンスを撤去し、リビング前にウッドデッキを設置し、リビングからバリアフリーでウッドデッキに出られるようにました。ウッドデッキの素材はメンテナンスフリーのアイアンウッド（鉄のように硬い木材）です。

ウッドデッキの下は収納庫に。地面からリビングまでかなり高かったため、収納スペースも大きくとることができました。

茂っていた植栽は整理し、床面に平板を敷くことにより、ローメンテナンスのお庭に仕上がりました。

Planner's comment

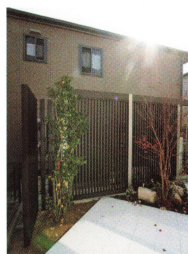
村川　司 さん

常にお客様の視点から考え、デザインを重視しつつ、使う人の動線・使い勝手も考えながらご提案しています。

⬆リフォーム前は土のままのお庭でした。

⬆リフォーム後はくつろげるタイルテラスに。ラグ＝LIXIL（TOEX）「ミッドテリア」腰壁＝ひまわりライフオリジナル自然石

⬆おしゃれな目隠しのあるプライベートガーデン。

⬆目隠しをしっかりとしながらも光を取り入れてくれるポリカーボネート目隠し。

➡高木はソヨゴ、ノムラモミジ。

⬆室内からみた風景。屋根には可動式のシェードを取り付けているので、リビングに入ってくる光をコントロールできます。テラス屋根・目隠し＝LIXIL（TOEX）「ココマ　サイドスルー腰壁タイプ」・「+G（プラスジー）ポリカパネル」

パース

作成＝（株）ひまわりライフ

Planner's comment

下阪　道寛　さん

目隠しをするのに、植栽を使ったり、パネルを使ったり単調にならないようにプランしました。真っ白なタイルがお庭全体を明るく演出しています。

Style 23 可動式のシェードで光をラクラク調整できるテラス

使い勝手の良い庭に変身！

暮らしやすい庭にリフォーム

兵庫県Ｍ邸
施工面積＝約10坪
施工期間＝約20日
設計・施工＝（株）ひまわりライフ北神戸店
(P.94 参照)
プランナー＝下阪　道寛さん

Ｍさんのご要望は、「お隣からの視線が気になるので、しっかり目隠しをしたい」とのことでした。そこで、植栽を適度に取り入れ、さりげなく目隠しをし、白を基調にしたタイルや自然石をたくさん使いました。

テラス屋根にはシェード（日よけ）を取り付けているので、リビングに入ってくる光を調整することができます。

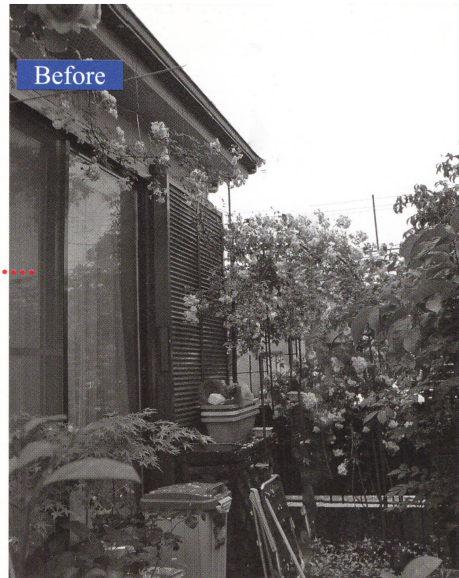
リビングが延長したようなタイルテラスは、落ちつけるくつろぎの場所になりました。

Style 24

パーゴラ付きテラスでスッキリリフォーム

After

リフォーム後はローメンテナンスの使いやすいお庭に。

Before

リフォーム前のお庭は雑然としていました。

周囲をウッドフェンスで囲んで、コーナーには木製の物置（写真奥）を設置し、立水栓もレンガで製作（写真左手前）。

大型のポストはたくさんの郵便物が入ります。ポスト＝オンリーワン「コパリッドポスト」

木製の門柱に表札・ポスト・インターホン・門灯の機能を集約。

千葉県Ｔ邸
施工面積＝約５坪
施工期間＝約 10 日
設計・施工＝スペースガーデニング（株）
柏展示場店（P.94 参照）
プランナー＝村川　司さん

Ｔ邸のお庭は樹木が生い茂り、雑然していました。Ｔさんのご要望は、

①庭を使いやすくしたい。
②不要な枕木を処分して植栽スペースを広くとりたい。
③バラに合う庭にしたい。

とのことでした。

そこで、既存の樹木や枕木を撤去し、周囲をウッドフェンスで囲んで、お庭でくつろげるように。コーナーには木製の物置を設置し、立水栓もレンガでつくりました。

パーゴラ（洋風の藤棚）を設置して、ツルバラを誘引できるように。将来はバラの枝がパーゴラを伝って、みごとなローズガーデンになることでしょう。

床面には平板を敷いて、テラスでバーベキューなどが楽しめるように。お庭への入口にはサークルをつくりました。

いたるところに植栽スペースを設け、バラや季節の草花を楽しめるようになっています。

玄関前には木製の機能門柱を設置。表札・ポスト・インターホン・門灯の機能を集約しました。

パーゴラ・ウッドフェンス・機能門柱の素材はメンテナンスフリーのアイアンウッド（鉄のように硬い木材）です。

リフォーム後は、ローメンテナンスの使いやすいお庭になりました。

庭を暮らしやすくするアイデア

お庭をつくる時に、一番大事なのは、「暮らしやすさ」です。いかにデザイン面ですぐれていて美しくても、日常の使い勝手が悪く、暮らしにくくては、ストレスがたまってしまいます。ここでは、暮らしやすいお庭をつくる７つのポイントをご紹介します。

レイアウト＝松本真由美（P.50～51）

① 階段の代わりにスロープを

コンクリートのなだらかなスロープにして、歩きやすいアプローチに。

人は必ず年をとります。たった３段の階段の上がり下がりが苦痛になる時がくるのです。そのために、可能であれば、スロープ（斜面）を設けるとよいでしょう。

② 狭い間口（まぐち）には親子門扉（おやこもんぴ）を

ポピュラーなアルミ製の親子門扉。軽くて扱いやすいのが特徴。門柱のレンガの色に合わせて茶色に。親子門扉なので、出入りがラクです。

豪華に見える両開（りょうびら）きの門扉（もんぴ）も、日常生活では片側しか開けないものです。ただし、60cmの間口（まぐち）では、両手に買い物袋を持っていたり、子どもの手を引いていたり、あるいは自転車の通行には狭すぎます。片側80cmが標準の親子門扉（おやこもんぴ）がベターです。

③ リビングルームの前面は塀（フェンス）で隠す

リビングの前面に横張りのウッドフェンスを設置し、目隠ししています。

リビングルームが道路側に面したお宅では、プライバシーを確保するのがむずかしいものです。高さ1.8mの塀やフェンスで、リビングルームの掃（は）き出（だ）し窓（まど）を隠しましょう。道路境界線から3m以上の奥行きが確保できるなら、ぜひそうすべきです。

④ 駐車場の入口に引戸を

↑ 駐車場の入口には引戸を設置した例。レールがついているので開閉がラク。目隠し効果もあります。

もし、リビングルームの脇に駐車場があれば、高い塀に沿って引戸を設置できます。跳ね上げ式ですと敷地内に柱が立ちますから、1.0m のデッドスペースが生まれ、蛇腹式は耐久性に問題があります。電動式の引戸なら雨の日でも安心です。

⑤ 駐車場の奥にはセンサー式照明を

← 駐車場の奥にセンサー式照明を設置した例。

狭く奥行きのとれない駐車スペースでの車の出し入れには気を使います。それが夜ならなおさらです。車の入庫を察知して光るセンサー式照明を取り付けましょう。

⑥ 生活のためのエクステリア照明

↑ ライトアップされたアプローチとお庭。ほとんどが低電圧ライトのため、数多く設置しても電気代が節約でき、多くのタイプが異なるライトによって夜はまたちがった景色を楽しめます。

長いアプローチや階段、スロープを暗闇の中で歩くことは不安なものです。アプローチの足元や階段には、うるさくない程度の照明を設置すると、歩きやすくなります。気になる電気代も、最近注目のLED（発光ダイオード）ライトを使用すれば、比較的安価で済みます。

⑦ アイアンウッドのデッキとオーニング

↑ アイアンウッドのデッキならメンテナンスフリー。デッキの上にオーニングをつけるとさらに快適。

リビングルームや和室の前には、ウッドデッキをつけたいものです。しかし、通常の木材では数年ごとに防腐剤を塗布しなければなりませんし、防腐剤は人体にも有害です。防腐剤を必要とせずメンテナンスも不要なアイアンウッド（鉄のように硬い木材）がおすすめです。また、デッキの上に電動式のオーニング（日よけ）をつければ、暑い日には日よけに。洗濯物を干していて突然雨が降ってきても安心です。

※ P.50 ～ 51 の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

雑草とりのお悩み解決！

ローメンテナンスの庭にリフォーム

お庭の悩みでもっとも多いといわれるのが雑草とり。特に年齢が高くなってくると、雑草とりの作業が苦痛になってきます。また、茂りすぎた樹木や生垣も、採光や視界を悪くします。石・タイル・舗装材などを敷いて土の面積を少なくし、メンテナンスの手間を少なくするとよいでしょう。樹木や生垣は、適宜剪定することです。

レイアウト＝松本真由美（P.52～57）

After

リフォーム後。全面舗装でローメンテナンスのお庭に。

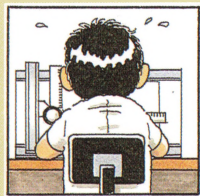
Style 25 全面舗装のスタイリッシュな庭にリフォーム

夏場の雑草に頭を悩まされていたMさん。「ローメンテナンスの庭にしたい」というガーデンリフォームのご依頼でした。

そこで、レンガや乱形石を使った全面舗装仕上げとし、お庭を今以上に広く感じられ、なおかつおしゃれな空間になるようにデザイン。直線と曲線を融合させて、その交差するラインに意味を持たせました。中心に高さのある寄せ鉢を置き、フォーカルポイント（注視点）としています。

地下ガレージの上に位置しているため、高木を植えることができないので、そのかわりに球体のオブジェを配しました。お部屋から見た時に良いアクセントとなっています。

リフォーム後は、全体の色合いがうまくまとまり、スタイリッシュなお庭ができました。

Planner's comment

酒井　康裕さん

ローメンテナンスの庭を希望される方は結構いらっしゃいます。そんな時は、ひたすらウ～ンと悩みます。で、熟考の末できたのがこの現場です。それだけに思いが深い作品です。

リフォーム後のお庭のコーナー。既存物にも化粧を施し、まとまった仕上がりに。

リフォーム前のお庭のコーナー。

リフォーム前のお庭。

まっすぐ伸びるライン
が奥行きを感じさせます。

アクセントとなる球体のオブジェ。

舗装の中に植栽のグリーンが映えます。

直線と曲線の融合。

兵庫県M邸
施工面積＝約30坪
施工期間＝約15日
設計・施工＝（株）ウエシン（P.94参照）
プランナー＝酒井　康裕さん

Style 26

ローメンテナンスの庭にリフォーム

リフォーム後。借景効果で緑いっぱいに。

数年前に工事をしたE邸。今回はメインのお庭の工事のご依頼でした。

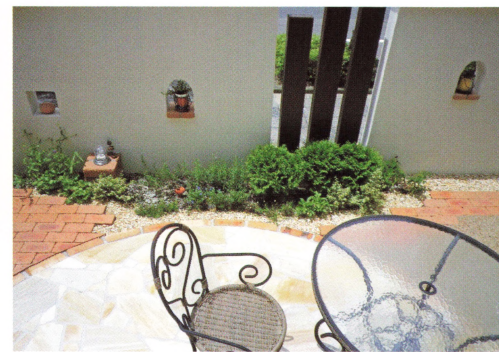
鬱蒼としている生垣を撤去し、壁とフェンスで外周をつくりました。ちょうど目の前の緑がとてもきれいな地区なので、借景効果で緑いっぱいに見えます。

塗り壁は曲線を取り入れてやわらかいイメージに。飾り窓をあけて圧迫感を軽減、枕木のこげ茶色がアクセントに。フェンスは木樹脂性なので、メンテナンスフリーです。

お庭は、自然石と砂利樹脂の洗い出しで土間（床面）をつくっています。テラスは自然石の乱貼り、縁どりはレンガ、園路は枕木と自然素材で仕上げました。

全体的に明るく開放的になり、テーブルに腰かけてゆっくりくつろげる空間になりました。

福岡県E邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約15日
費用の目安＝約230万円
設計・施工＝グランド工房 筑紫野店（P.95参照）
プランナー＝新田 美由紀さん

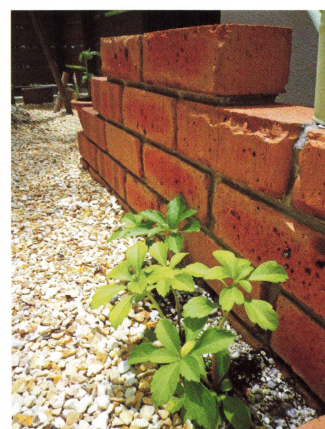
白の壁がパッと明るい感じを出してくれています。

リフォーム前は芝庭。

壁の下部も植栽スペースにして、季節の草花を植えて。

Before

リフォーム前は樹木が鬱蒼としていました。
リフォーム後は外観もかわいらしく。
シンボルツリーはシマトネリコの株立ち。

雑草とりのお悩み解決！

ローメンテナンスの庭にリフォーム

下草はフッキソウ。

Planner's comment

新田　美由紀 さん

生垣を撤去することにより、その厚みの分が広がったので、以前よりお庭が広くなりました。夜もマリンライトの明かりでナイトガーデンが楽しめます。

Style 27

芝庭をモダンな空間へチェンジ！

↑ リフォーム前は全面芝生のお庭でした。

↑ リフォーム後のお庭。モダンな空間に。

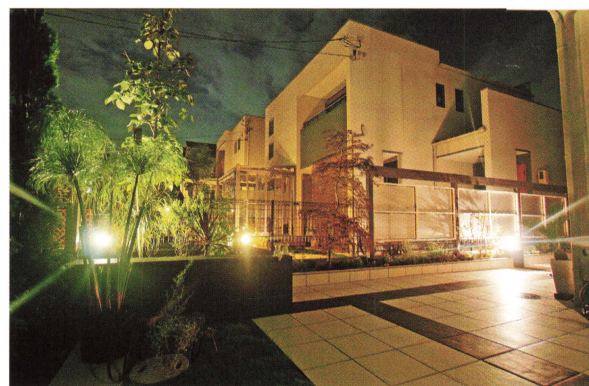
作成＝（株）ひまわりライフ

↑ 目隠しフェンスの下は、隣家のワンちゃんが見えるようにあけています。

↑ 黒のタイルと平行に芝生のラインを入れました。

兵庫県K邸
施工面積＝約18坪
施工期間＝約30日
費用の目安＝約260万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ 西神戸店（P.94参照）
プランナー＝杉野 英一さん

※使用素材
スリットフェンス・ライト＝タカショー「エバースクリーン」・「シンプルスポットライト」・「マリンライト」門扉＝LIXIL（TOEX）「アウタースライド門扉」

↑ 玄関灯の明かりが門扉やスリットフェンスのすき間からもれて、幻想的なお庭に大変身！

↑ 夜になると、植栽灯やアプローチ灯がお庭をきれいに夜化粧してくれます。

お庭のリフォームでご相談にこられたKさん。ご来店時は「どんな感じに変わるのかなぁ～」と思われていたそうですが、私がご提案したプランを気に入っていただき、すぐに工事のご依頼をいただきました。

建物外観に合わせて白と黒のタイルで、L字型のお庭をつながるように貼り合わせ、お庭を広く見せる視覚的演出も取り入れました。

一番のポイントは芝生。リフォーム前は、お庭全体に芝生を張っていましたが、メンテナンスが面倒でした。しかし、芝生のスペースを小さくすればメンテナンスできると思い、黒のタイルと平行に芝生のラインを入れました。モダンでクールなお庭の中にもやさしさを感じるスペースになっています。

リフォーム後は、お子様がお庭の中で遊び、元気なワンちゃん2匹もかけまわっています。

Planner's comment

杉野 英一 さん

建物の外観に合わせて、お庭も設計しました。シンプルだけれど豪華！夜のライティングも注目です。

Style 28

芝庭をローメンテナンスの庭にリフォーム

↑ リフォーム前のお庭。既存のタイルテラスのまわりは芝生が繁茂していました。

← リフォーム後は、自然石のアプローチで区切ることで、管理のしやすいお庭に。タイルテラスの横にはアオハダを植えて木陰を。

↑ リフォーム前の外観。西側道路からのプライバシーが確保されていませんでした。

← リフォーム後は、メンテナンスフリーのアイアンウッドの目隠しフェンスで、プライバシー確保もバッチリ。フェンスの足元はコニファー（針葉樹）で彩って。

↑ リフォーム前は見切りもなく、お庭すべてで芝生が繁茂していました。

↑ リフォーム後は、自然石・平板・舗装材でスッキリと。

雑草とりのお悩み解決！

ローメンテナンスの庭にリフォーム

埼玉県Ｔ邸
施工面積＝約 10 坪
施工期間＝約５日
設計・施工＝スペースガーデニング（株）さいたま展示場店
（P.94 参照）
プランナー＝高橋　章友さん

北西角地に建つT邸。Tさんのご要望は、
①西側道路からのプライバシー確保。
②既存の芝庭を管理しやすく。
③既存のテラスに木陰がほしい。
とのことでした。

そこで、「プライベートターフ（芝）ガーデン」をテーマにプランニングしました。

見切り（仕切り）もなくお庭すべてで繁茂している芝生を、自然石のアプローチで区切ることで、お庭の管理がしやすいようにしました。

西側道路からのプライバシー確保のために、目隠しのウッドフェンスを建てました。柱と横板を前後に交互にはさむことで、目隠し効果と光・風の透過を両立しています。素材はメンテナンスフリーのアイアンウッド（鉄のように硬い木材）です。

既存のタイルテラスの横にはアオハダを植えて、木陰をつくりました。

リフォーム後は、管理しやすいローメンテナンスのお庭になりました。

Planner's comment

高橋　章友さん

既存のテラスでゆっくりとすごしていただけるようにと、芝生の見切り兼アプローチに工夫を凝らしました。雑木の木陰ができたことで、照り返しも軽減できたと思います。

ローメンテナンスの庭にするアイデア

美しいお庭を維持するためにはある程度のメンテナンスが必要ですが、年齢が高くなってくると、メンテナンスの作業が苦痛になってきます。お庭の悩みでもっとも多いのが雑草とり。対策は、土の面積を少なくすることです。メンテナンスフリー（メンテナンスの手間がかからない）にするためには、テラスならタイル貼り、ウッドデッキならアイアンウッド（鉄のように硬い木材）、芝庭（しばにわ）は人工芝（じんこうしば）の庭にするのがおすすめです。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&G アカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.58～59）

❶ 土の部分の面積を少なくする

土が露出しているお庭は、必ず雑草が生えてきます。ほんの少しの土でも、雑草は育ちます。雑草が生えないようにするには、土の部分の面積を少なくすることが一番です。コンクリートで固めることもできますが、床面に自然石・レンガ・タイル・舗装材などを敷けば、見栄え（みば）も良くなります。植栽（しょくさい）スペースを確保しておけば、十分ガーデニングが楽しめます。ただし、砂利を敷くだけでは、風に飛ばされたり落葉（おちば）の掃除がしにくかったりして、ローメンテナンスにはなりません。

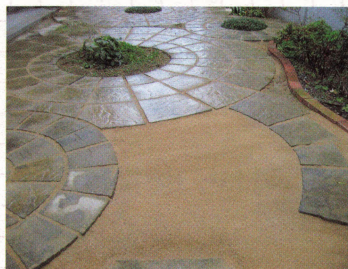
⬆➡ リフォーム前は、植物が生い茂ってメンテナンスが行き届きませんでしたが（左）、リフォーム後は、平板（へいばん）と舗装材で来客用の駐車スペースに（右）。

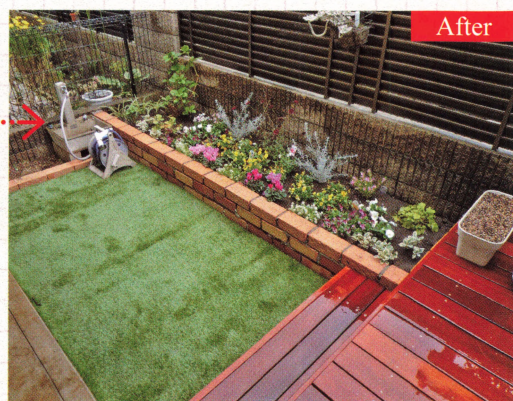
床面を舗装する素材のバリエーション

洗（あら）い出（だ）し仕上げ（写真左側）

レンガ（写真手前）

真砂土舗装材（まさどほそうざい）（写真手前）

自然石

❷ 芝庭（しばにわ）を人工芝（じんこうしば）の庭に変える

人気の芝庭も、「雑草とりで庭の管理が大変」という方が増えています。人工芝を敷きこむと、見た目にも美しく、管理もラクで、経費もそれほどかかりません。人工芝は昔からありますが、近年非常に良い人工芝が開発されました。人工芝の下に防草（ぼうそう）シートを敷きこむことにより、雑草の心配がなくなり、お庭もいっそう美しくなります。

⬆➡ リフォーム前は芝庭で、雑草とりが大変でしたが（左）、リフォーム後は、人工芝を敷きこむことにより、メンテナンスフリーの美しいお庭に変身（右）。

❸ タイル貼りのテラスでメンテナンスフリーに

ローメンテナンスのテラスをつくりたい方には、タイル貼りがおすすめです。タイル貼りなら、ほぼメンテナンスフリーで、汚れやホコリを水で洗い流すだけで十分です。

↑← リフォーム前は土のままのお庭でしたが（右）、リフォーム後は、タイル貼りにすることで、メンテナンスフリーの美しいテラスに（左）。

← マンホールや水道のメーター器などは、点検や検針のため、覆(おお)ってしまってはいけませんが、お庭の美観上は、どうしてもじゃまなものです。左の例では、リフォーム前はマンホールが露出しています。リフォーム後は、マンホールを移動せずにテラスを施工。テラスのラインギリギリにマンホールがくるようにして、マンホールのフタが開閉できるように工夫。このように工夫することにより、ムダな工事費用が発生しません。

❹ メンテナンスフリーのアイアンウッドを活用する

→↑ リフォーム前のウッドデッキは、表面も傷(いた)んできて根太(ねだ)（土台）の部分が腐りはじめていましたが（右）、リフォーム後は、アイアンウッドでメンテナンスフリーのデッキに（左）。

ウッドデッキやウッドフェンスをつくる場合は、アイアンウッド（鉄のように硬い木材）がおすすめです。ウッドデッキの素材は、価格の高いものから低いものまでいろいろあります。どちらを選ぶかはあなたしだいですが、最初に価格の低い素材を選んでも、メンテナンスの手間がかかったり、施工後何年か経過して朽(く)ちてきたり、シロアリの害が出てきたら、結局リフォームすることになり、かえって高くついてしまいます。そんな不安や心配がまったくない素材がアイアンウッドです。じょうぶで腐らず、無塗装で使用できるので、防腐剤(ぼうふざい)の害の心配もありません。お手入れは、汚れた時にデッキブラシで水洗いするだけ。メンテナンスフリーの素材です。

アイアンウッドはいろいろなシーンで活用できる

ウッドフェンス

室外機カバー

ガーデンシンクカバー

※ P.58～59 の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

150万円以内でも実現！

低予算ガーデンリフォーム実例

通常、エクステリア（外構）やガーデン（庭）工事の費用は建築費用の10%程度といわれていますが、ここでは、比較的低予算—150万円以内で実現できた施工実例をご紹介します。ただし、エクステリアにかかる費用は、地域、立地条件、使用素材、施工会社などによって異なるので、ここで掲載している「費用の目安」は、あくまでも目安であることをお忘れなく。

レイアウト＝松本真由美（P.60～65）

Style 29

桟橋のようなウッドデッキアプローチが印象的なフロントガーデン

リフォーム後。モダンでシャープなデザインの中にあたたかみを感じられるような空間に。

団地内の奥地に建つO邸は東向きで隣地と近いため、夏場以外は半日のみ日照ある立地でした。リフォームにあたってのOさんのご要望は、

①駐車スペースの土間（床面）の水はけが悪いので、舗装をして解消したい。

②駐車スペースと中庭との境がはっきりしていないので、やわらかい目隠しを入れて、プライベート空間を演出してほしい。

③隣地境界との目隠しフェンスがほしい。

とのことでした。

車庫部の舗装面が多かったので、無機質なコンクリート系の素材ばかりにならないよう、自然系の天然木と植栽を多く取り入れました。

隣地境界とのウッドフェンスは、炭化させた木材を使用しているため、質感もやわらかく、夏場の暑い時期でも熱をもちにくい自然派のフェンスです。アプローチにも高耐久性を誇るハードウッド・イタウバ材を使用し、コンクリート面とのバランスを考えました。

アプローチまわりには足元にグランドカバー（下草）としてクリーピングタイムを植えているので、来客時には香りでお迎えできるようにもなっています。

落葉樹と常緑樹のバランス良い配置でフォーカルポイント（注視点）と目隠しを応用する工夫もしています。夕刻時にはマリンライトが足元を照らしくれるほか、フェンスに付いているブラケットタイプのライトはテラス柱に取り付けしたスイッチで入り切りが可能になっています。

フェンスの材質は国産杉材を炭化させたタンモクという素材を使用。
ウッドフェンス＝タカショー「タンモクウッド」

アプローチはハードウッド・イタウバ材を使用した天然ウッド仕様。

作成＝エクスライフ

ご満足の様子のＯさんご家族。

玄関まわり近景。

リフォーム前のお庭。

全景のリフォーム前（上）とリフォーム後（左）。

リフォーム前の駐車場。

夕刻からはアプローチへと誘導するように、対に並んでいるマリンライトがあたたかい光で迎えてくれます。

岡山県Ｏ邸
施工面積＝約 20 坪
施工期間＝約 30 日
費用の目安＝約 120 万円
設計・施工＝エクスライフ（P.95 参照）
プランナー＝三井　勇樹さん

Planner's comment

三井　勇樹 さん

ほとんどご提案図面の変更もなく、おまかせいただきました。高耐久性で質の良い天然木を使用しましたので、長くご愛用していただけることと思います。アプローチ周辺の足元に植えたクリーピングタイムが一面に緑になる日を楽しみにしています。

Style 30

緑いっぱいの空間にナチュラルテイストがプラス

リフォーム後のアプローチ。 タイル＝タカショー「セラクラシック（ロゼ）」舗装材＝オンリーワン「ネットペブル」

リフォーム前のアプローチ。

テラコッタ製のバードバス。

既存レンガを敷き直してリフォーム。

グランドカバーのスズラン。

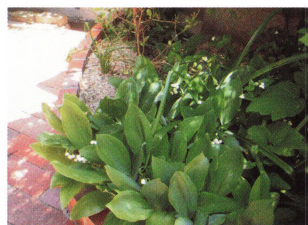
玄関前ではさまざまなガーデンポットの寄せ植えとテラコッタ製のバードバスがお出迎え。 バードバス＝オンリーワン「バードバス」

M邸は国道沿いで南向き。車庫部から玄関までのアプローチに階段があり、車庫と中庭はほぼ空間で仕切られている立地でした。Mさんのご要望は、

①古くて格好の良くない植木を撤去して、洋風なデザインに合うあまり手間のかからない植物を植えてほしい。その際落葉樹を減らして常緑樹をふやしてほしい。

②古いカーポート（屋根付き駐車場）と一部の塀を撤去して車が出入りしやすい設計にしてほしい。

③全体的に花壇となる植栽スペースを減らして、管理のしやすい寄せ植えのプランターやガーデンスカルプチャー（彫刻）を追加してほしい。

とのことでした。

もともと植物が多い環境だったので、素材の選択等に注意し、その植物たちがそのまま生かせるようなナチュラルな仕上がりになるよう配慮しました。既存の植物は落葉樹の割合が多かったのですが、移植や植え込みで常緑樹の割合が多いよう逆転させて、冬の間でも緑があり四季を通じて楽しめるお庭へとリフォームしました。プランターは主に一年草用にして、季節に応じて来客用に準備できるよう選択・配置しています。

バードバス（鳥の水場）をはじめとするガーデンスカルプチャーやメインのガーデンポットは、各所でフォーカルポイント（注視点）の役割を果たしてくれ

ています。
花壇内は和風ゾーン・洋風ゾーン・食用ハーブゾーン等さりげなくエリア分けをして、管理がしやすいよう工夫しています。シーグラスやタイルをうまく利用して、ナチュラルな壁や床面にもアクセントを加えています。

↑ リフォーム後。既存のカーポート・伸縮門扉を撤去し、新たなカーポートを設置。

↑ リフォーム前。

↑ 反対面はボーダータイルで飾って。

↑ シマトネリコ、ラベンダー、クリスマスローズ、コルディリネ、シャクナゲ…、常緑樹を中心に四季を通じて楽しめるよう新たに植栽。

↑ 玄関前ではさまざまなガーデンポットの寄せ植えとテラコッタ製のオーナメントがお出迎え。

↑ 白い壁面には花模様を象って貼られたシーグラス達が点在。

↑↓ 玄関内から外を見ると…。ガーデンアーチにからめたバラと常緑ヤマボウシが姿を見せてくれます。

← リフォーム前の駐車場。

← リフォーム後。テラコッタ、ガラス、タイル、レンガ、石材…とさまざまな素材が草花とともに迎えてくれます。

150万円以内でも実現！

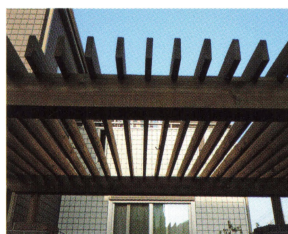
低予算ガーデンリフォーム実例

岡山県M邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約40日
費用の目安＝約150万円
設計・施工＝エクスライフ
(P.95参照)
プランナー＝三井 勇樹さん

リフォーム前。

リフォーム前の全景。

リフォーム後の全景。

リフォーム後。お向かいの北欧風建築とパーゴラがとてもマッチしていて、まるで異国の地にいるかのよう。

パーゴラにもお花をたくさん飾れるように、フックを取り付けて。
床面のレンガはKさんご自身で施工。
道路側には木製の扉を設置。

福岡県K邸
施工面積＝約10坪
施工期間＝約30日
費用の目安＝約120万円
（パーゴラ・レンガ角柱）
設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）
プランナー＝田中（たなか） 花菜枝（かなえ）さん
坂口（さかぐち） 亜耶（あや）さん

作成＝遊庭風流

Style 31 パーゴラと花壇でイメージ一新

Kさんのご要望は、
①お庭でゆっくりくつろげる空間をつくりたい。
②重厚感あるパーゴラ（洋風の藤棚（ふじだな））をつくりたい。
とのことでした。

パーゴラ部分は防腐（ぼうふ）・防蟻（ぼうぎ）10年保証の木材を使用し、土台はレンガの角柱（かくちゅう）にすることで、重厚感のある空間に仕上げました。パーゴラにもお花をたくさん飾れるように、フックを取り付けています。床面はなんと、下地砕石（したじさいせき）だけ当社（遊庭風流）で施工して、レンガはKさんご自身で敷き込まれました。

目隠し囲いには石貼り（いしば）の壁をつくり、その手前の小スペースに花壇と収納式のベンチを設置しました。

道路側には、ゴミ出しやご近所の方の出入りのために、木製の扉をつけています。

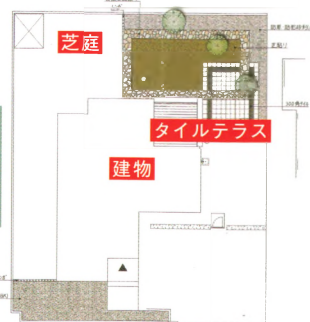
お家の中から見ても、リフォーム前に比べると、景色がグンと良くなりました。お向かいのお家が2軒続けて北欧風建築で、それとパーゴラがとてもマッチしていて、まるで異国の地にいるかのようなながめになっています。ここは日本ということを忘れてしまいますね。お向かいのお家までも景色にしてしまいました！

Style 32 タイル貼りのテラスでローメンテナンスの庭に

リフォーム後は、タイル貼りのテラスでローメンテナンスの庭に。メインツリーはシマトネリコ。

Before

リフォーム前は、新築時につくったウッドデッキがあるだけでした。

平面図・パース

作成＝遊庭風流

150万円以内でも実現！
低予算ガーデンリフォーム実例

お家のモノトーンなイメージとよくマッチ。

ご主人お手製の芝庭。

乱形石貼りのシャープなライン。

ウッドデッキからテラスを見て。

福岡県N邸
施工面積＝約13坪
施工期間＝約14日
費用の目安＝約80万円
設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）
プランナー＝田中　花菜枝さん・坂口　亜耶さん

雑草対策を目的としたガーデンリフォーム工事。「おしゃれな庭にしたい」というのがNさんのご要望でした。

1回目のご提案をすぐ気に入っていただき、ほぼ変更がないままのデザインで、できあがりました。プランナーとしては、うれしいかぎりです。

サッカーが大好きなご主人の「庭で子どもとサッカーを楽しみたい」とのご希望により、芝生を取り入れたプランにしました。

L字型の広いお庭に、新築時につくったウッドデッキを中心に、タイル貼りのテラスを設置。お家のモノトーンなイメージとよく合っています。乱形石貼りのシャープなラインを取り入れました。

植栽は1本、お庭のメインツリーとなる高木のシマトネリコにし、あとは屋久島ご出身のお父様から送られた木々たちを、植え替えて配植（植物をバランス良く配置して植えること）しました。

広い芝庭の芝は、なんとご主人がすべて張られたものです。みずから張られた芝ですから、愛着がわき、お手入れも楽しくなることでしょう。

Planner's comment

田中　花菜枝さん（左）
坂口　亜耶さん（右）

私たちがつくりあげたお庭にNさんが手を加えて、よりすてきなものになりました。人に自慢したくなるようなオシャレな雰囲気にし、いろいろな人が集まって、笑いの絶えない楽しい時間をすごしてほしいですね。心地良い空間で、お客様が快適にすごしていただけるようにサポートさせていただきます！

リフォーム工事のコストを抑えるアイデア

リフォーム工事を施工会社に依頼する時に、誰でも気になるのが予算です。通常、エクステリアやガーデン工事の費用は建築費用の10％程度といわれていますが、低コストを実現できる素材や工法があります。ここでは、リフォーム工事のコストを抑えるコツをご紹介します。

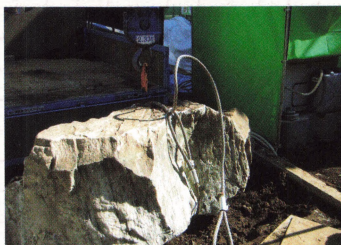
指導＝小澤明（庭樹園社長、E&Gアカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.66～67）

❶ 解体・撤去費用を抑える

新築時とリフォーム時のガーデン工事、どちらもコストは変わらないように思えますが、じつは、リフォームの方が割高になります。それは、既存の樹木・庭石や構造物の解体・撤去費用が意外にかかるからです。たとえば、コンクリートの床面をレンガ敷きに変える場合、敷設費用の半分程度の撤去費用がかかります。そこで、樹木や庭石については、残せるものは残した方がよいでしょう。コンクリート床面は、その上から化粧を施すという方法があります。

工事中は多くのゴミが出る

➔ 既存のフェンスや樹木を取り除いてウッドデッキをつくった例。写真のように、工事中はおびただしい量の廃棄物が出ます。少量の樹木なら個人で可燃ゴミに出せますが、これぐらいになると、運搬費・廃棄費がかかってきます。

庭石は撤去が大変

⬆ 庭石は撤去費用がかかるので、再利用した方がベター。

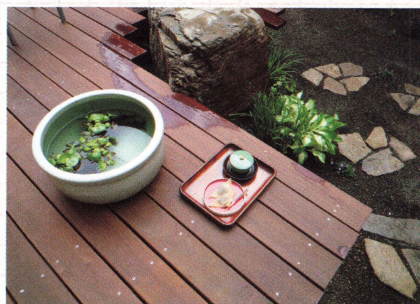
樹木の移植はむずかしい

⬆➔ 樹木の移植。多くの手間と費用がかかります。

既存の構造物を解体しないで再利用する

⬆➔ リフォーム前（左）とリフォーム後（右）。コンクリートのテラスは、壊すと解体撤去費用がかかるので、その上からスッポリとウッドデッキをつくって固定しました。

❷ 樹木や庭石はできるだけ生かして再利用する

既存の庭石を生かす

↑既存の庭石を再利用してウッドデッキに取り込んだ例。

既存の樹木を生かす

↑残したい樹木(カキの木)を、ウッドテーブルに穴をあけて、通した例。

樹木や石も撤去費用がかかります。樹木は、少量であれば、可燃ゴミとして個人で廃棄することもできますが、最近個人のゴミも有料化の傾向にあり、まったくコストがかからないとは言い切れなくなってきました。移植も、移動費・養生費(ようじょうひ)などの余計なコストがかかりますし、樹木の生存率も高くありません。そこで、既存の樹木をどうしても残したい場合は、構造物の中に取り込んでしまうことです。たとえば、樹木のあるスペースにウッドデッキをつくる場合、デッキをくり抜いてしまうとよいでしょう。また、庭石も撤去費用がかかるので、取り込むことをおすすめします。

❸ 既存物・廃物を再利用する

古い木製の扉を生き返らせてウッドフェンスに

After

Before

←150年も前につくられた木造の蔵の大扉。

←きれいに洗ってサンドペーパーをかけ、ステイン剤で塗り替えてウッドフェンスに再利用(写真中央)。

庭づくりでは、古い構造物や素材をできるだけ再利用するのが賢明です。特に、ガーデンリフォーム工事では、既存物を再利用することにより、解体撤去費用や産業廃棄物の処分代を抑え、工事全体のコストを下げることができます。アイデアと工夫しだいで、元のものとはまったくちがったものに生まれ変わります。左の写真の例では、150年も前につくられた木造の蔵の大扉をきれいに洗い、サンドペーパーをかけ、ステイン剤で塗り替えて、ウッドフェンスに再利用しました。新しくつくったアイアンウッド(鉄のように硬い木材)のデッキともよくなじみ、違和感がありません。左下の写真の例のように、古い井戸も、こわさずに再利用するのは大切なことです。なるべく古き良き時代の姿をこわさずに、新しい時代の変化に利用できるように工夫しましょう。

古い井戸をウッドデッキの中に取り込む

After

Before

↑古い井戸。古き良き時代の姿をとどめています。
←古い井戸を、新しくつくったウッドデッキ中に取り込んで再利用。デッキと同じ素材でフタをつくり直してひとつの景観としても違和感のないように。昔は井戸水を汲み上げるために使っていた滑車も、モニュメントとして再利用。

Adviser
小澤(おざわ) 明(あきら)さん

東京農業大学造園学科を卒業後、造園会社を経て造園材料販売の後、ガーデンショップ庭樹園を設立。工事・園芸店経営。草花・植木・エクステリア・園芸資材など、エンドユーザー相手のガーデナーとして活躍中。2005年1月よりE&Gアカデミー東京校講師を兼務。(有)庭樹園についてくわしくはP.94参照。

※P.66～67の施工実例は、すべて(有)庭樹園(P.94参照)の設計・施工によるものです。

門まわりのイメージ一新！

すてきなフロントガーデンに

門まわりは、いわばその家の「顔」。明るくさわやかにお客様を迎えられるようにしたいもの。おしゃれな素材で彩った門まわりは、住む人のセンスの良さが感じられます。夜にライトアップすれば、帰宅時にやさしく迎えてくれます。LED（発光ダイオード）ライトを使えば、省電力になります。

レイアウト＝松本真由美（P.68～74）

After

Style 33

ガラス角柱で装い新たな門まわりに

リフォーム後の門まわり（昼）。曲線を使ってやわらかいイメージに。既存の門柱はそのまま生かし、表面の下地をつくりなおして、コストを抑えつつ、ガラリとイメージをチェンジ。

「大きなバラを残して門まわりをリフォームしたい」というのがYさんのご希望でした。

門まわりが古くなり、ブロックの汚れも目立っていたので、思いきって門柱を新しくしました。

曲線を使ってやわらかいイメージに。ガラスをポイントに使い、夜の演出にもこだわりました。既存の門柱はそのまま生かし、表面の下地をつくりなおして、コストを抑えつつ、ガラリとイメージを変えています。ガラス角柱「インゴット」を取り入れ、単調にならないように仕上げました。

夜は、このガラス角柱にライトを当てて新たな夜の顔とし、幻想的な演出をしています。

ここに、Yさんご要望の大切なバラを残してのリフォームが完成しました。

Planner's comment

浦﨑 正勝 さん

Yさん、このたびはエクステリアリフォーム工事のご依頼をいただき、ありがとうございました。工事が終わるころにはハナミズキの花が満開になり、とてもきれいでした。

※通常「INGOT（インゴット）」とは金の延べ棒などの流し込み製品に使われる用語ですが、「神の宿るガラス」という意味も掛け合わせて、透明度の高い高透過ガラスを使用しています。圧倒的な存在感を放つEXGLASS（エクステリアガラス）です。

リフォーム後のお庭。屋根と床を立ち上げることにより、お庭に出やすくなり、心地良い自然の恵みだけを楽しめる快適な空間へ生まれ変わりました。シンボルツリーはシマトネリコ。

リフォーム前はお庭に出にくく、使い勝手も悪い状態でした。

リフォーム前の門まわり。古く暗いイメージでした。

パース

作成＝（株）ひまわりライフ

リフォーム後の門まわり（夜）。門柱の間に埋め込まれたガラス角柱が幻想的な門まわりを演出。ニューサイランの陰影が美しい。

※使用素材
ガラス角柱＝ZERO「インゴット」ガラスブロック＝Hi-ZERO「チェッカーウォール003」表札＝TOMY「TOMY Glass200 チェリーグミ」門扉・ポストアーチ＝LIXIL（TOEX）「コラゾン３型」・「エクスポスト」・「＋G」ライト・壁材＝タカショー「シンプルスポットライト１型」・「ジョリパッド＋ガーデンスーパーコート」

兵庫県Ｙ邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約20日
費用の目安＝約250万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ西神戸店
（P.94参照）
プランナー＝浦﨑　正勝さん

Style 34

広くなった駐車場・門まわりもおしゃれにリフォーム

リフォーム前。玄関前の門まわりが道路まででのびていてムダなスペースが多く、植栽も育ちが悪くて建物全体が暗くなっていました。

パース

作成＝（株）ひまわりライフ

リフォーム後。駐車場が広くなり、おしゃれな門まわりに。　アルミゲート＝LIXIL（TOEX）「＋G（プラスジー）」表札＝ZERO「インゴット200」ポスト＝オンリーワン「ブランチ」照明＝タカショー「シンプルスポットライト」

工事途中。門まわりが新しくなり、職人さんたちが自然石の乱形石材をていねいに貼ってくれています。駐車スペースになるので、自然石の下にはコンクリートを打ち込み強度を出しています。

広くなった門まわり！アルミゲートと門柱のカラーリングが建物を引き立ててくれます。

門まわりのイメージ一新！

すてきなフロントガーデンに

アルミゲートにガラスの角柱でオリジナル表札を設置。アルミスリット（すき間）フェンスの間から常緑樹のシマトネリコのかわいい葉が見えて、下草にはヒメクチナシ、ブルーパシフィック、西洋イワナンテンを植え込み、涼しいイメージでお客様をお迎えしてくれます。

駐車場の配置に長年悩んでおられたTさんご夫婦。お孫様が生まれ、車を止めるスペースが必要となり、思いきってリフォームすることになりました。

現状は2台分の駐車場。これを4台駐車できるように既存の門まわりも新しくすることに。駐車場を2台分増やすために、今まで入口をふさいでいたブロック塀を撤去し、駐車する位置を変えることで、4台分の駐車スペースを確保することができました。

暗かった門まわりは、新しくアルミゲートを配置して、さらにガラスの角柱でオリジナル表札を製作して、豪華な玄関まわりに変身しました。

門柱は、アルミゲートの配色をリンクさせて一体感のある門まわりへとリフォームできました。

植栽は、シマトネリコ、ヤマボウシを中心に、明るいグランドカバー（下草）を植え込み、やさしい緑がお客様を迎えてくれます。

リフォーム後は、今までとちがった外観になり、ご近所からも評判が良くTさんにも大変喜んでいただけました。

山口県T邸
施工面積＝約30坪
施工期間＝約20日
費用の目安＝約250万円
設計・施工＝（株）ひまわりライフ
山口店（P.94参照）
プランナー＝杉野　英一さん

Planner's comment

杉野　英一さん

駐車場も広くなり、新しくなった門まわりを喜んでいただいたので、うれしいかぎりです。

Style 35

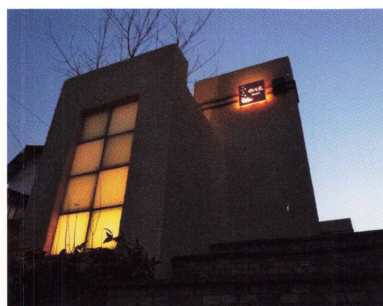
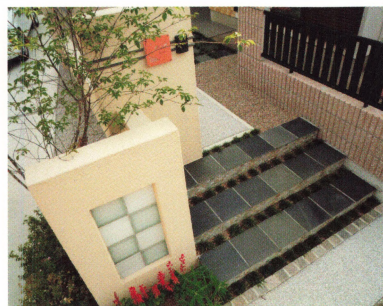
動線に配慮したスッキリ外構（がいこう）にリフォーム

リフォーム後の門まわり近景。前後する壁が圧迫感をやわらげ、石貼（いしば）りの仕上げが重厚感を演出。

リフォーム前の門まわり近景。雑草が生い茂り、手がつけられない状態でした。

リフォーム前の門まわり遠景。

門壁（もんぺき）はガラスブロックをアクセントに。

夜景。光源を隠し、情緒（じょうちょ）ただよう演出。

リフォーム後の門まわり遠景。縦列駐車2台分とアプローチ、それぞれのスペースをしっかり確保。

和風の落ちつきを与える植栽（しょくさい）はヒイラギナンテン、ベニシダなど。

シンボルツリーはアオダモ。

福岡県S邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約14日
費用の目安＝約200万円
設計・施工＝グランド工房新宮店（P.95参照）
プランナー＝馬場（ばば）　浩貴（ひろき）さん

駐車場拡張にともなう外構（がいこう）改修工事の例。長い間手をつけられないままのS邸の外まわりはまさに雑草地帯でした。ここまで育ってしまうと、もう自分の力だけでは手に負えません。そこで今回は駐車場拡張も兼ね、外まわりを一新する計画となりました。

縦列駐車の配置としたため、車の行き来のさまたげとならない門まわりのデザインが重要でした。しかし、道路からすぐのところにリビングの窓があるため、あまり奥に配置するのは望ましくありませんでした。ただ、ポストを道路側に配置すると、玄関から遠ざかり不便になってしまうので、今回は門まわりを分けて配置する形をとりました。

全体的には落ちついた色味で仕上げ、要所（ようしょ）でポイントとなる仕上げを取り入れることによって、派手（はで）すぎない重厚感を演出できました。駐車場から玄関までの最短の裏アプローチも設けているので、使い勝手もバッチリです。

Planner's comment

馬場（ばば）　浩貴（ひろき）さん

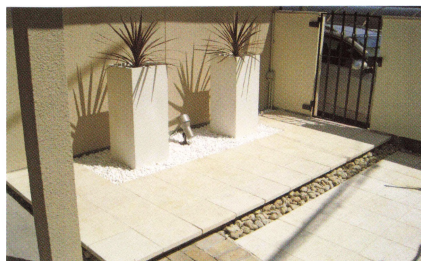
落ちついたお家の色味に合わせて、エクステリアが派手になりすぎないよう配慮しました。趣のある空間となるように、細部のタイルや照明計画にも工夫を凝らしました。

Style 36

明るい門まわりにリフォーム

リフォーム前の門まわり。

シンボルツリーのヤマボウシ。

リフォーム後は、明るくイメージを一新しながらも落ちついた色調でまとめました。

ステージ風のスペース。玄関まわりが広々とした印象に。

既存の石組みを利用したロックガーデン。階段沿いの花台には鉢花を飾って楽しめます。

門まわりが明るい印象になりました。

門まわりのイメージ一新！

すてきなフロントガーデンに

建物の改装にともなうエクステリア（外構(がいこう)）のリフォーム工事。草花がお好きなSさんは鉢でたくさんのお花を育てておられました。リフォームにあたっては、「現状の石をできるだけ処分して空間を広く活用したい」とのご要望をいただきました。

門まわりは明るくイメージを一新しながらも落ちついた色調でまとめ、建物や既存物と違和感のない仕上がりに。

門を入った正面はステージ風に仕立て、空間に広がりを持たせました。このステージと階段沿いの花台には鉢などを飾って楽しめます。

既存の石組(いしぐ)みはあえて再利用し、ロックガーデン（石の庭）風に仕上げました。

兵庫県S邸
施工面積＝約16坪
施工期間＝約40日
費用の目安＝約280万円
設計・施工＝（株）ウエシン
（P.94参照）
プランナー＝酒井(さかい)　康裕(やすひろ)さん

Planner's comment

酒井(さかい)　康裕(やすひろ)さん

リフォームの仕事には「やりがい」を感じます。施工前の状態をいかに良くするか？出来栄えに工事費以上の価値を感じていただけるように、いつもプレッシャーをほどよく受けながら、絵を描いています。

Style 37

オリジナルアイアン門扉(もんぴ)のエクステリアにリフォーム

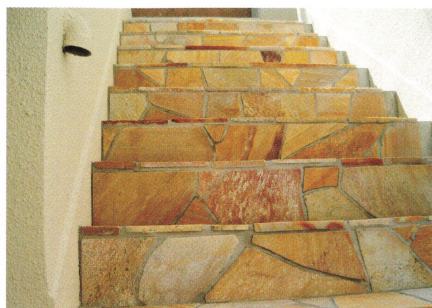
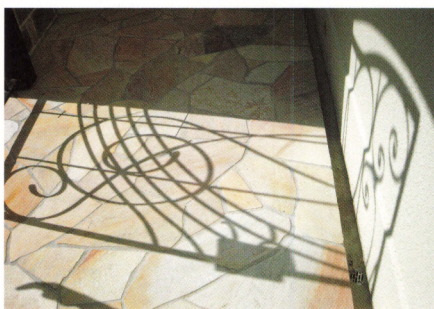
リフォーム後の門まわり。石貼りと吹き付けを組み合わせて豪華で明るいイメージに。

リフォーム前の門まわり。

リフォーム前の階段はタイル貼り。

リフォーム後の階段は明るい色の石貼りに。

ト音記号をモチーフにしたアイアン門扉。

明るい色の乱形石貼り(らんけいいしばり)。自然石はイエロークォーツ。

明るくなった門まわりに合わせ、植栽(しょくさい)も明るい葉色のものに。

石貼りのフロアに映る門扉のシルエットも美しい。

既存擁壁もすべて吹き付けして、新築のように。

兵庫県H邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約60日
設計・施工＝（株）ウエシン
（P.94参照）
プランナー＝松田(まつだ)　真哉(しんや)さん

「お庭や門まわりのイメージを変えたい」とのご希望をいただいてはじまった大規模なリフォーム工事。

まず、門まわりは色調をグレーから明るいベージュ系に。門柱をゲートタイプに変えて石貼り(いしばり)と吹き付(ふつ)けを組み合わせ、豪華で明るいイメージの門まわりに生まれ変わりました。

特にこだわったのは、特注のアイアン（鉄）製門扉(もんぴ)。Hさんのご趣味である音楽にちなんでト音記号と五線をモチーフにした、世界にひとつしかないオリジナル門扉です。実物大の型紙をつくってイメージを確かめ、色も最後まで悩みました。

長いアプローチ階段は、グレー系のタイル貼りからすべて石貼りにリフォーム。石貼りのフロアに映る美しい門扉のシルエットも楽しめます。

既存擁壁(ようへき)もすべて吹き付けして、新築のように生まれ変わりました。イメージを一新しながらも、まわりと違和感のない、すばらしい仕上がりとなりました。

Planner's comment

松田(まつだ)　真哉(しんや)さん

施工前から劇的に生まれ変わりながら、いかにまわりと違和感のない仕上がりにするかがリフォーム工事のポイント。Hさんのこだわりと、それに応えようとする各担当者の力を結集したチーム力で、最高の仕上がりとなりました。

Style 38

鬱蒼とした生垣をスッキリリフォーム

↑ リフォーム前の門まわり。

↑ 大きな鉢とレリーフがポイントに。

↑ リフォーム後の門まわり。外側に配置した緑でやわらかな印象に。

↑ リフォーム前の外まわり。ゴールドクレストが大きくなりすぎていました。

↑ 間口が長いので、変化のある構成に。

↑ リフォーム後の外まわり。圧迫感を感じさせず、さりげなくプライベートスペースを目隠し。

生長しすぎた生垣のリフォーム工事の例。「コニファー（針葉樹）のゴールドクレストが大きくなりすぎたのでスッキリさせたい」とのご依頼でした。

まずは生垣を撤去し、門柱に合わせた塗り壁にして、ボリュームダウンしました。距離が長いため、単調にならないよう高さや奥行きを変えたり、間にアルミラッピングの角材を立てるなど変化のある構成としました。

また、壁の1枚は化粧目地で強調し、レリーフや輸入品の鉢で飾ってデザインのポイントとしました。

メインのポイントを1ヶ所にしぼることにより、その部分がより強調され、まとまりのある仕上がりとなっています。

壁はあえて少し控えた位置に配置し、外側に植栽スペースをとりました。

外に緑を見せることで、やわらかい印象となり、季節を感じることもできて、道行く人にも楽しいフロントガーデン（前庭）です。

※使用素材
壁材＝四国化成工業「美プロ」
角材＝タカショー「エバーアートウッド」

Planner's comment

酒井　康裕さん

リフォームの仕事はやりがいがあります。既存のものをいかに残し、いかに生かすか…。完成がもともとの姿との比較なので、見た目や機能性の改善点が施主様にもわかりやすく、その分喜んでいただいています。むずかしいところもありますが、私にとっては好きな仕事のひとつです。

兵庫県Ｋ邸
施工面積＝約 50 坪
施工期間＝約 30 日
設計・施工＝（株）ウエシン（P.94 参照）
プランナー＝酒井　康裕さん

門まわりの植栽を美しく保つアイデア

門まわりの植栽や生垣は、手入れをしないと大変なことになります。枝がボウボウにのびて道路に張り出たりすれば、道行く人の迷惑です。また、窓やガスメーターなどの必要なものが見えなくなったりします。植栽や生垣は、適宜手入れをし、のびすぎてしまった場合は、取り除いてリフォームするとこをおすすめします。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&Gアカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.75）

❶ 生長の早い樹木は春先に思いきって剪定を

➡ ⬆ リフォーム前はシマトネリコが茂りすぎ、リビングから何も見えず、風通しも悪くなっていましたが（右）、リフォーム後は、春先に思いきって枝を切り落し、このようにバッサリと（左）。

シマトネリコなどの生長の早い樹木は、1年に1回、春先に思いきって枝を切り落とさないと、あっという間に手に負えなくなります。

★生長の早い樹木の例
シマトネリコ、ゲッケイジュ、シルバープリペット、ブットレアなど。

❷ 生長の遅い樹木の剪定はプロにまかせる

⬅ リフォーム前はモミの木が茂りすぎ、リビングから何も見えず、風通しも悪くなっていましたが（右）、リフォーム後は、プロにまかせた結果、このようにきれいに剪定してくれます（左）。

生長が比較的遅く、特に樹形を大切にする樹木の剪定は、プロの手にまかせた方がよいでしょう。どの枝を切ったかわからないように、本来の姿を大切に考えて剪定します。

★生長が比較的遅く、特に樹形を大切にする樹木の例
モミの木、チャボヒバ、モチ、モッコク、マツ、その他高木類。

❸ のびすぎた樹木はフェンスでスッキリと

のびすぎた樹木は、手入れもままならず、害虫の温床になることもあります。思いきって切り、フェンスを立ててその外側を生垣にすれば、内側のウッドデッキやお庭が、今まで以上に有効利用できることになります。

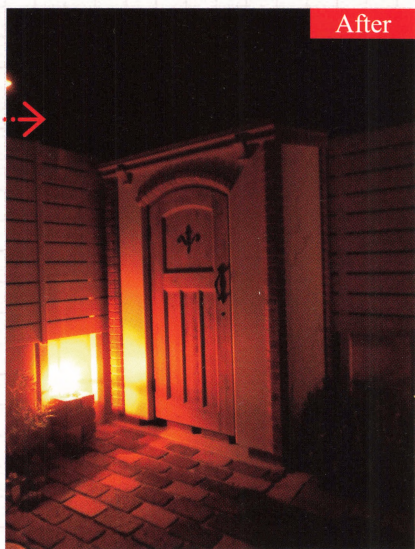
⬅ リフォーム前は枝葉がのび放題で、サンゴには虫がつき、葉がなくなる状態で、手がつけられませんでしたが（右）、リフォーム後は、アイアンウッドでフェンスを立て、その外側にベニカナメを施工することで、スッキリとしてながめや風通しも良くなりました（左）。

※P. 75の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94参照）の設計・施工によるものです。

ワンポイントリフォームのアイデア

お庭や外構を全面リフォームしなくても、ポストや物置などのアイテムをリフォームするだけで、お庭や外まわりの表情がガラリと変わります。ここでは、おしゃれでじょうぶなFRP（繊維強化樹脂）製のポストや物置を使って、すてきなお庭や外構にリフォームした実例をご紹介します。

レイアウト＝松本真由美（P.76）

おしゃれな物置にリフォーム

↑→ 長年ワンちゃんのために芝生にしていたお庭（左）を、木樹脂のウッドデッキでローメンテナンスの庭にリフォーム。スチール製の物置も、見た目がかわいくお庭のポイントとなるFRP製の物置に（右）。福岡県H邸、設計・施工＝グランド工房（P.95参照）。
物置＝ディーズガーデン「カンナキュート」

→↓ テラス部分以外はほとんど手が入れられなかったお庭（右）を、リフォーム後はガーデンルームで癒しのお庭に。お庭の雰囲気を統一するために、物置はFRP製のおしゃれな物置に（下）。福岡県A邸、設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）。
物置＝ディーズガーデン「カンナフォルテ」ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「暖蘭物語」タイル＝タカショー「セラクラシック」

おしゃれなポストにリフォーム

↑→ リフォーム前は門まわりの機能ポールが折れていて、駐車スペース奥の勝手口まわりにはグレーのインターロッキングが敷かれていましたが（左）、リフォーム後は、ひときわ目を引くオレンジ色のポストで、明るくあたたかみのある門まわりに。福岡県S邸、設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）。
ポスト＝ディーズガーデン「デューン」表札＝オンリーワン「タイル表札」陶器タイル・スクリーンブロック」＝タカショー「モザイクタイル」

→↓ リフォーム前はやや無機質な感じの門まわりでしたが（右）、リフォーム後は、レンガと塗り壁であたたかいエクステリアにリフォーム（下）。兵庫県H邸、設計・施工＝（株）ひまわりライフ（P.94参照）。
門扉・ポスト・表札・目隠しフェンス＝ディーズガーデン「アール門扉」・「フローラ」・「C-02」・「アルファーウッド・連結タイプ」

Dea's Garden

ディーズガーデンが提案するエクステリアのライフスタイル

「自分の家が、こんな外構や庭だったら素敵だろうな・・・」と思えるようなライフスタイル。そんな思いを込めたシーンには、ご家族が長い間使って愛着を持てるようなデザインと品質にこだわった商品の姿があります。

Dea's Sign Glass Collection
味わい深い手作りのガラスにステンレス切り文字を組み合わせた表札【G-04】

Dea's Post Wall on type
ディーズガーデン定番の人気壁掛ポスト【スタッコ ＆ ポーチ】

Garden Item
飾り棚やフラワーハンガー、フィックスフェンスなどで楽しい空間を演出できるアイテム

Alpha Wood
リアルな木目の目隠し樹脂フェンス

Dea's Shed Canna
ガーデンデザイナー人気No.1のデザイン物置【ディーズシェッドカンナ＆キュート】

愛犬が安心して遊べる！

ワンちゃんにやさしい庭に

ワンちゃんは大切な家族の一員。できるだけ快適な環境で遊ばせてやりたいものです。ウッドデッキやガーデンルームなどでワンちゃんが飛び出さないようにしっかりと囲み、適度な日陰をつくり、土の部分を少し残してあげるとよいでしょう。

レイアウト＝松本真由美（P78～83）

Style 39

インテリアにもこだわった愛犬お気に入りのガーデンルーム

After

リフォーム後は快適なガーデンルームに。シンボルツリーはシマトネリコ。ガーデンルーム＝LIXIL（TOEX）「ココマ」

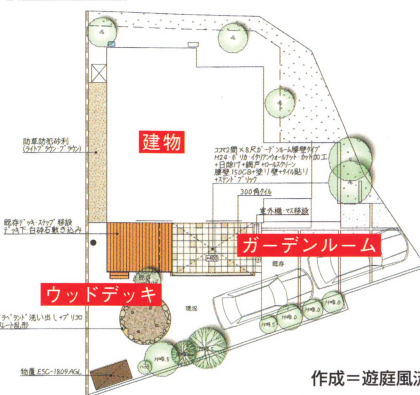
Mさんからは「リビング前にガーデンルームをつけて、既存のウッドデッキも利用したい」とのご依頼がありました。

そこで、既存のデッキは一度解体して横に移動し、その後にガーデンルームをつけることになりました。

リフォーム後は、ガーデンルームとデッキが一体化して、広いテラス空間が完成しました。どちらも楽しめる快適スペースです。

雑貨屋さんのようなセンスあふれたお家のインテリアに合わせて、ガーデンルーム内も、ステンドグラスやMさんが用意されたオリジナル照明などで、お家との統一感が出て、光あふれる第二のリビングになりました。

完成後は、Mさんにさっそくたくさんの飾りつけをしていただき、愛犬「マリンちゃん」もお気に入りのスペースになったのか、のびのび遊んでくれています。特に、クッションの上がお気に入りのようです。

福岡県Ｍ邸
施工面積＝約５坪
施工期間＝約21日
費用の目安＝約233万円
設計・施工＝遊庭風流（P.95参照）
プランナー＝日吉（ひよし） 祐子（ゆうこ）さん
高尾（たかお） 百合子（ゆりこ）さん

特にお気に入りはクッションの上。
クッション＝LIXIL（TOEX）「ミッドテリア　ピューパ」

棚には鉢花やオブジェを置いて。

平面図

建物
ガーデンルーム
ウッドデッキ

作成＝遊庭風流

パース

ステンドグラスで楽しく。

リフォーム前は既存のウッドデッキがありました。

愛犬「マリンちゃん」もお気に入りのスペース。

Planner's comment

日吉（ひよし）　祐子（ゆうこ）さん（左）
高尾（たかお）　百合子（ゆりこ）さん（右）

Mさん、ありがとうございました！何度も展示場に足を運んでいただき、打ち合わせもとても楽しかったです。オリジナルのセンスで飾りつけも積極的に楽しんでいただき、私たちもうれしく思います。マリンちゃんとご家族での楽しい時間をおすごしください。

↑ リフォーム前は、雑草が生えてお庭の手入れが大変でした。

After

↑ リフォーム後は、愛犬も一緒に楽しめる第二のリビングに。
ガーデンルーム・フレーム＝LIXIL（TOEX）「暖蘭物語」・「＋G（プラスジー）」

Kさんのご要望は、
① 庭にガーデンルームをつくりたい。
② 雑草が生えて庭の手入れが大変なので、舗装したい。
とのことでした。

ガーデンルームは、K邸の特殊な取り付けにも対応できるタイプを選択。Kさんご夫婦に、当社（遊庭風流）展示場だけでなく、メーカーのショールームも見ていただき、気に入っていただけました。特に、ショールームにあった10尺の大きさのガーデンルームをご主人が熱望されて、当初の予定よりもサイズが大きくなったのですが、実際に仕上がってみると、大正解。とても明るく広々とした空間ができあがりました。

ガーデンルームの背景となるフレームも、同色のホワイトを選んだので、一体となって溶け込んでいます。生垣（いけがき）のお手入れもだいぶラクになったそうで、よかったです。

リフォーム後は、とてもやさしくてかわいい愛犬「まりお君」のくつろぎスペースができました。夜はお嬢様のダンスルームにもなっているとか…。仲良しのお2人をガラスブロックに入れてみました。太陽の光が当たると、ガラスブロックに反射して、とてもきれいです。

床面の舗装は、自然石貼りとカラークリート（床面や壁面のコンクリートに型を押し当てて造形する方法）を使用しています。全体的にブラウンとホワイトのふんわりした雰囲気になって、あたたかい印象です。カエルちゃんも個性的でカッコいいアクセントになっています。

カエルちゃんも個性的でカッコいいアクセントに。

シェード（日よけ）で暑い日ざしをやわらげて。

ガーデンルームは愛犬「まりお君」のくつろぎスペースに。

仲良しのお２人をガラスブロックに。

平面図

建物

暖蘭物語2間×10尺
H25ロング柱・ホワイト・スタイルB・日除け
+側面網戸+ペンダントライト
腰壁:150CB+塗り壁+ガラスブロック

カラクリート・316

バルコニー

ガーデンルーム

カラクリート・316

90角石ライン

スレート乱形

カラクリート・306

ダイコンドラ目地(施主工事)

既存生垣

+300

物置 M227HF

Gスクリーン角格子+縦格子H24

作成＝遊庭風流

愛犬が安心して遊べる！

ワンちゃんにやさしい庭に

福岡県K邸
施工面積＝約８坪
施工期間＝約 21 日
費用の目安＝約 302 万円
設計・施工＝遊庭風流（P.95 参照）
プランナー＝日吉（ひよし） 祐子（ゆうこ）さん
高尾（たかお） 百合子（ゆりこ）さん

Planner's comment

日吉（ひよし） 祐子（ゆうこ） さん（左）
高尾（たかお） 百合子（ゆりこ） さん（右）

Kさん、ありがとうございました。打ち合わせから工事までとても楽しかったです。家族愛のたくさんつまった明るいガーデンルームが完成しました。どんどん活用してくださいね！

Style 41 ワンちゃんが家族と一緒に遊べる庭にリフォーム

After

愛犬が安心して遊べる！
ワンちゃんにやさしい庭に

リフォーム後の全景。玄関とリビング前、車庫とお庭とを仕切るようにウッドフェンスとウッド門扉を設置。フェンスの高さはワンちゃんが飛び越えない高さで良いとのご要望により、最低限の高さに設定。

岡山県Ｓ邸
施工面積＝約20坪
施工期間＝約20日
費用の目安＝約100万円
設計・施工＝エクスライフ（P.95参照）
プランナー＝三井 勇樹さん

パース

作成＝エクスライフ

Before

リフォーム前の状態。

小さな団地内にある一角に建つＳ邸。日当たりは午前中、夏場以外は昼をすぎると陰ってくる立地でした。Ｓさんのご要望は、

①小さな犬がいるので放して遊ばせられる庭にしたい。

②駐車スペースと庭スペースを仕切りたい。

③ウッドフェンス・ウッドデッキを使用したい。

とのことでした。

プランにあたっては、駐車場との取り合い（調整）を最も考慮し、限られたスペースの中で互いに行き交う動線を注視して設計しました。また、小型犬のワンちゃんを放しても大丈夫なフェンスやウッドデッキを実現するため、フェンスの高さ等に関わってくる資材量とコストの関係にも注意しました。

ウッドフェンスとウッドデッキは、国産杉を使用した保存処理木材として、高い耐久性を誇る木材を使用しました。色は、白サッシが使われた住宅のデザインに合わせナチュラルなグレーアンバーを選びました。

芝生は、省管理型の高麗芝を採用し、少し芝生面が広くてもメンテナンスが負担にならないようにしています。

フェンスのライン上には、外部からの景観には目立たぬようなデザインでウッド門扉を設置。駐輪場近くのウッド門扉は、自転車を押して入るに余裕がとれるよう幅の広い門扉をオリジナルで製作しました。

↑ リフォーム後。リビング前のエリアは駐車スペース確保のため、設計上広さをとるのに限界があったので、バーベキュー等の大人数イベントはデッキを下りたお庭にあるレンガ敷きと芝生のスペースを利用するようご提案。ウッドデッキ上には白サッシに合わせ白色のアルミテラスを設置し、夏場の強い日ざしからくるウッドデッキとリビングの温度上昇を抑える役割を果たすよう配慮。

↑ リフォーム前のお庭。

↑ ウッド門扉はフェンスの貼り板ラインに合わせてオリジナルで製作したので、景観上はウッド門扉があるのがわかりにくいようになっています。 木材の色は建物外観に合わせグレーアンバーという色を選択。

↑ ← ウッドデッキからお庭をのぞんで。リフォーム前（上）とリフォーム後（左）。ウッドデッキの上はお茶を飲むくらいの利用に限定し、主な目的はリビングからお庭、リビングから玄関をつなぐアイテムとして活躍。

↑ Sさんご家族。ウッドデッキ部にある段差や柱等の注意箇所には埋込型のLED（発光ダイオード）ライトが設置されていて、夜景シーンの演出力アップに加え、足元の気付きの明かりとしてほのかにあたりを照らしてくれます。

← 省管理型（しょうかんりがた）の高麗芝「TM－9」。高麗芝を張り、芝生内に家族の手形をかたどった思い出のプレートを埋め込みました。

← カーポート下に納まっていた物置と駐輪場は、物置を移設することで使い勝手の良い空間に様変わり。びっしりと緑のジュウタンとなっているのは、芝張り後約1ケ月経過した状況。来季も同じような緑にするためには、休眠期における草とり等の管理が大事になってきます。

Planner's comment

三井（みつい）　勇樹（ゆうき） さん

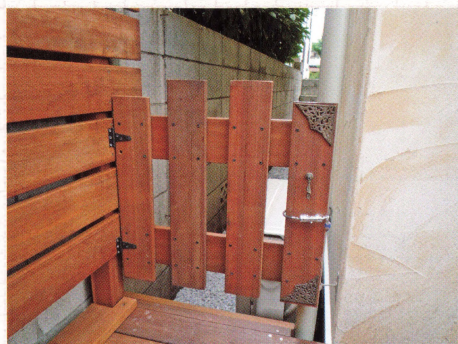
住宅サッシが白色でエクステリアに使われていたアイテムにはアンティーク調のものが多かったので、デザイン設計の段階からナチュラル系の色合い・素材を使用したデザイン提案をしました。ワンちゃんをお庭で放して遊ばせたいとのご要望から、ウッドフェンスを設置する設計となりましたが、単にフェンスで仕切るのではなく、自転車利用が多いご家族の日常的な使い勝手と将来的な生活環境変化も考慮して、門扉を２ヶ所設置する等の工夫を加えています。真夏の暑い時期の工事でしたが、現場の職人さんに毎日冷えたスポーツドリンクを何本もご用意していただいた奥様の細かな心使いにはスタッフ一同感激感謝しています。また、工事途中にもかかわらず、ウッドデッキが完成した喜びのあまり翌日にさっそくデッキの上で朝食を食べられたというお話を聞いた時はうれしくなりました。 芝生のお手入れは大変だと思いますが、通常芝生よりもメンテが少なくてすむ TM-9 を使用していますので、毎年緑いっぱいの芝を目ざしてお手入れがんばってください！！

ペットが快適な庭にするアイデア

お庭でワンちゃんが自由に遊びまわれたらすてきです。お庭をドッグランにしてもよし、ウッドデッキやガーデンルームをつくってもよし。床面は芝生やワンちゃんの足にやさしい舗装材にするとよいでしょう。ポイントは、ワンちゃんが飛び出さないようにして、日陰をつくり、少し土の部分を残してあげることです。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&G アカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.84 ～ 85）

① 庭をドッグランにする

広いお庭の場合、お庭の一部にドッグランを設けるのも楽しいものです。ワンちゃんは芝生が大好きです。お庭に出てワンちゃんとたわむれるのも、お庭の使い方のひとつです。ウッドデッキをワンちゃんのお庭にする場合、ウッドデッキに扉をつけると、ワンちゃんの飛び出し防止など安全面でも効果があります。カギをつけることがポイントです。ウッドデッキやガーデンルームは夏場にかなり暑くなるので、樹木で木陰(こかげ)をつくったり、シェード（日よけ）で日ざしをやわらげるとよいでしょう。

ウッドデッキに扉をつけてワンちゃんの飛び出し防止。

広いお庭の一部をドッグランに。

〈お問い合わせ先〉
（株）三樂
☎ 03-3820-8853
FAX. 03-3820-8854
（URL）http://www.3raku.co.jp

「青森ヒバ 100% ウッドチップ」

内容量 :50ℓ入 / 袋、
価格 :2,500 円（税・送料別）、
敷設量 :50ℓ＝1㎡
（標準 5cm 厚）。

「青森ヒバ100%　ウッドチップ」を敷くと、抗菌成分のヒノキチオールがワンちゃんのオシッコやウンチのニオイを消してゆき、清潔感のあるお庭が実現します。防虫効果にすぐれ、蚊やダニを寄せつけません。また、雑草の生育を抑え、腐りに強いので、長持ちします。

② 庭に少し土の部分を残す

ワンちゃんとともに遊べるお庭というのは、ワンちゃんがいるお宅では必ず出てくるご希望です。右の施工例では、ワンちゃんと遊べて、かつ、ローメンテナンスの庭がテーマでした。土の部分を真砂土舗装材(まさどほそうざい)や自然石で施工し、雑草とりの手間が少なくてすむようにしました。また、土の部分を少し残すことで、ワンちゃんの居場所(いばしょ)ができます。さらに、花壇をレンガで比較的高くすると、ワンちゃんが花壇の中に入らなくなります。こうした工夫で、ワンちゃんと共存するお庭ができます。

リフォーム前は芝庭(しばにわ)で雑草も生えていましたが（左）、リフォーム後は、真砂土舗装材や自然石でローメンテナンスの庭に（右）。土の部分を少し残すことで、ワンちゃんの居場所ができます。

③ 真砂土舗装材でペットの足にやさしい庭に

↑ 真砂土舗装材でワンちゃんの足にやさしい庭に。自然石でアクセント。

「ワンちゃんをお庭で思いっきり走りまわらせたい」と思うものの、雨が降った後などは、泥だらけにならないか心配です。芝生は雑草とりの手間が大変、コンクリートでは足を痛めてしまいそう…。そこで、おすすめしたいのが透水性真砂土舗装材「マサドミックス」。雑草が生えるのを防ぎ、歩いていても土のような感触で、固まっているので、雨が降っても汚れません。ワンちゃんやお子様に安心な、エコロジー素材です。

透水性真砂土舗装材「マサドミックス」

真砂土舗装材は、真砂土という土を主な成分とする舗装材で、水をかけると固まります。雑草を防止し、ぬかるみを抑える効果があります。写真は四国化成工業（株）のプロ仕様の真砂土舗装材「マサドミックス」ですが、類似の商品がホームセンターでお求めになれます。

〈お問い合わせ先〉
四国化成工業（株）お客様相談室
0120-212-459
（URL）http://kenzai.shikoku.co.jp/

真砂土舗装材の施工手順

①下地をよく固めて、その上に「マサドミックス」を出し、コテで整地します。厚さは3cm程度が目安です。

②全体的に、まんべんなく水やりをします。

③約1日乾燥させれば、「マサドミックス」が固まり、できあがりです。

※P. 84～85の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

薄塗りだからリフォームに最適！

水系舗装材「エクランEX」

アプローチや駐車場の床面を、石貼（いしば）りやレンガ調にしたい。でも予算が足りなくて…という方におすすめなのが「エクランＥＸ」。「エクランＥＸ」は、天然の砂にカラーセラミックを配合した水系舗装材。カラーセラミックを骨材（こつざい）とするため、退色・変色がなく、すぐれた耐酸（たいさん）・耐アルカリ性によって雨や汚れによる劣化を抑えます。深みのある多彩な色調とゆたかな素材感が最大の特長で、基本となる６つの色の中から２色を使った「混色（こんしょく）仕上げ」／「マーブル仕上げ」によって、味わい深い36のカラーバリエーションが可能です。新築はもちろんリフォームでもＯＫ。あなたも、「エクランＥＸ」で新しいお庭をつくってみませんか？

取材協力＝四国化成工業（株）
レイアウト＝松本真由美（P.86）

〈お問い合わせ先〉
四国化成工業（株）お客様相談室
0120-212-459
(URL) http://kenzai.shikoku.co.jp/

混色仕上げの施工例。

マーブル仕上げの施工例。

リフォーム前（左）とリフォーム後（右）。

施工手順

① プライマーを塗布します。

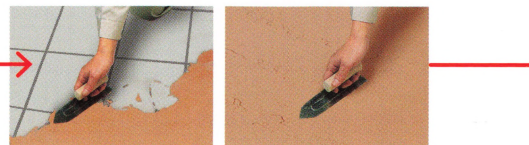
② 着色下地材の塗布後、目地材を貼り付けます。
※目地なしの場合は、着色下地材は不要です。

スポンジ／平滑仕上げの場合

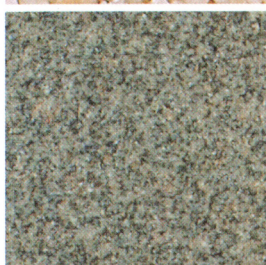
スポンジ仕上げ

平滑仕上げ

③上塗材を塗布します。コテで塗りつけた後、スポンジ仕上げの場合はスポンジで表面を軽くたたきます。平滑仕上げの場合は霧吹きして押さえ、コテ波や凹凸をなじませます。
※多少のコテ波は残る場合があります。

ラフ仕上げの場合

③上塗材を塗布します。コテで塗りつけた後、すぐにコテを使って、塗面に凹凸を出します。※厚塗りすると、乾燥後にクラック（ヒビ割れ）が発生する場合がありますので、ご注意ください。

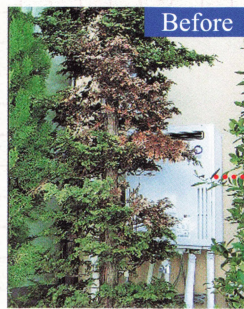
④目地材を除去した後、トップコートを塗布して、できあがりです。

遊び心でこんなことも…。

こんなケースは即リフォーム！

くずれかけた塀、腐りかけたウッドデッキ、茂りすぎた植栽（しょくさい）、使い勝手の悪い園路（えんろ）など、問題のあるお庭はストレスのもと。そのまま放置しておくと危険です。今すぐリフォームして、暮らしやすいお庭にしましょう。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&G アカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.88 ～ 89）

❶ 室外機の前に植物を植えない

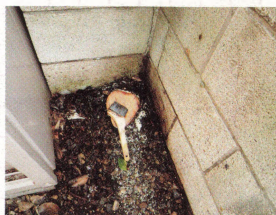
よく見る玄関前のスモールガーデン。湯沸かし機の室外機の前に植物を植えたので、室外機から出る熱風のため、植物が枯れてしまいました。室外機の位置を移動できればよいのですが、建物完成後はかんたんには移動できません。室外機カバーをつけても熱風は当たるので、そばに草丈（くさたけ）の低い植物を植えなおして解決しました。壁際（かべぎわ）に花壇をつくる場合は、室外機の位置や高さに気をつけましょう。

↑→ リフォーム前は室外機の熱風で植物が枯れていましたが（左）、リフォーム後は、そばに草丈の低い植物を植えなおして解決（右）。

❷ 駐車場床面にはじょうぶな素材を

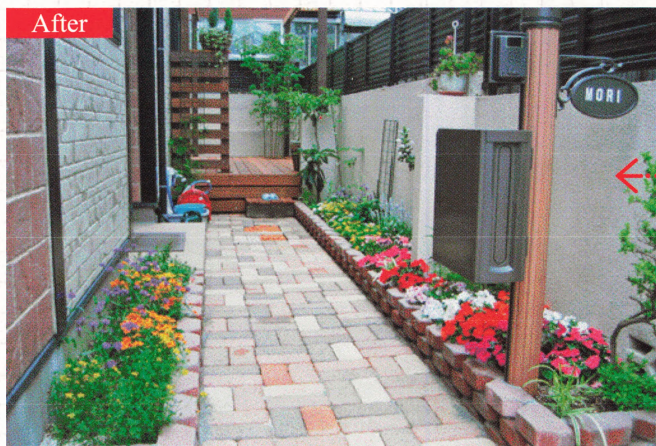
駐車場の床面は、重い車のタイヤが乗るので、じょうぶな素材を使うのがコツです。右の写真の例のように、あまりじょうぶでないタイルやレンガを使うと、割れたりするので、施工業者によく相談しましょう。この実例では右の写真のようにリフォーム。石材を貼ることによって、解決しました。既存のタイルの厚さがあまりなかったので、下地（したじ）を解体すると、よけいに費用が発生してしまいます。そこで、なるべく薄くてじょうぶな石材を使用しました。

↑→ リフォーム前は、あまりじょうぶでないタイルだったので割れてしまっていましたが（左）、リフォーム後は、薄くてじょうぶな石材を使用することで問題を解決（右）。

❸ 植栽は植物の性質をよく理解してから

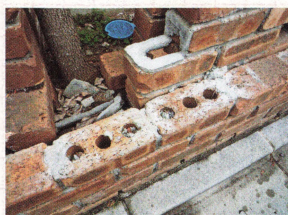
敷地の狭いところに植物を植える時は、植物の性質や形態をよく理解して植栽しないと、右の写真のように大きく育ち、大変なことになります。このような場合は、根元で切り、クレオソートなどの防腐剤（ぼうふざい）で処理すると、芽が出にくくなります。なるべく根を抜いて処理することがベストです。

↑ クレオソートで処理すると、芽が出にくくなります。

→ 狭い通路に大きくなる樹木を植えてしまったため、人が通ることができなくなってしまいました。

④ 使いにくいアプローチは歩きやすくリフォーム

↑ リフォーム後は、レンガ敷きで歩きやすくなりました。メンテナンスの手間もかからず、泥のはね上がりもありません。加工したレンガで、変化に富んだ花壇に。

↑ リフォーム前は、レンガが飛石風に配置されていましたが、非常に歩きにくく、泥のはね上がりで汚れがちで、下をたしかめながら、歩くような状態でした。

玄関までのアプローチ。ただ歩くだけではもったいないスペースです。人が歩いたり、自転車が通るには、60cmの幅があれば十分。アプローチの脇は花壇をつくりましょう。低めの花壇なら、圧迫感もありません。花があると、歩くのが楽しくなり、お客様も心地良くお迎えできます。

⑤ レンガを積み上げる時は必ず鉄筋を入れる

↑ 子どもが遊んでいて、レンガの一部がくずれてしまって、大変危険な一例です。
← 塀の形にこだわり、安全性・安定性を欠いています。子どもが乗ったりしたら、非常に危険です。

左の写真は、建売住宅のエクステリア工事の例。レンガをあまりにも細かく、鉄筋もなしで積み上げて、この結果です。子どもたちが塀に登ったりして遊ぶことを考えれば、非常に危険です。目地セメントもかんたんに取れて、くずれてしまいます。このように、形にこだわりすぎると、安全性を欠くことになります。レンガを積み上げる場合は、必ず鉄筋を入れることを忘れないように注意しましょう。

⑥ ウッドデッキの根太は腐らないアルミ材を

↑↗ リフォーム前のウッドデッキ。表面も傷んできて、根太の部分が腐りはじめていました。

ウッドデッキは、表面上は、しっかりしているように見えますが、長年たったウッドデッキの根太（土台）部分は、写真のように、腐っていることが多いものです。そのため、根太は、腐らないアルミ材を使用するとよいでしょう。また、デッキ本体の素材は、メンテナンスの必要がないアイアンウッド（鉄のように硬い木材）がおすすめです。根太の部分に腐らないアルミ材を使い、本体にアイアンウッドを使えば、メンテナンスフリーで半永久的にもつウッドデッキができあがります。

※ P. 88 ～ 89 の施工写真は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の提供によるものです。

古き良きものを再利用するアイデア

庭づくりでは、古い構造物や素材をできるだけ再利用するのが賢明です。特に、ガーデンリフォーム工事では、既存物を再利用することにより、解体撤去費用や産業廃棄物の処分代を抑え、工事全体のコストを下げることができます。アイデアと工夫しだいで、元のものとはまったくちがったものに生まれ変わります。

指導＝小澤明（庭樹園社長、E&Gアカデミー東京校講師）、レイアウト＝松本真由美（P.90～91）

❶ エアコン室外機のパイプを加工して筧をつくる

いらなくなって廃棄するしかなかったエアコン室外機のパイプを利用して、筧の代用にしました。壷はサイドに穴があけてあり、水滴の音が聞こえます。そして、余分な水はその穴からサイドの花壇へと流れるようになっています。

※筧（かけひ）…竹や木の樋の中に水を通し、手水鉢などに水を落とす設備。

➡ エアコン室外機のパイプを加工して石柱にからませ、筧の代用に。余分な水は壷のサイドの穴からサイドの花壇へと流れます。下草はトクサ、樹木は本霧島ツツジ、高さ 1.5m。

❷ 古いテラコッタ鉢と石臼を花台に

右の例では、使わなくなった古い石臼を花台に再利用しました。テラコッタ（素焼き）鉢はフラワーコンテナ立水栓に。テラコッタ鉢の立水栓の上部を花壇に利用しています。テラコッタ鉢の底部に給水管を設置すれば、見せる立水栓、使って楽しい立水栓になります。

⬆ 使わなくなった古い石臼。

⬆ 給水管の蛇口を取り付けた状態。

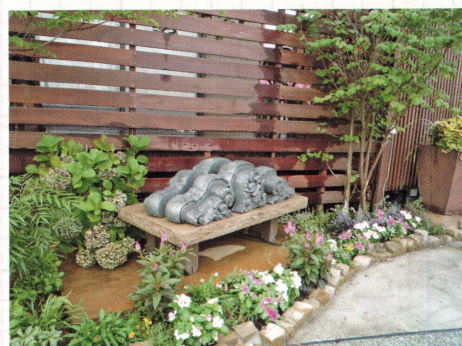
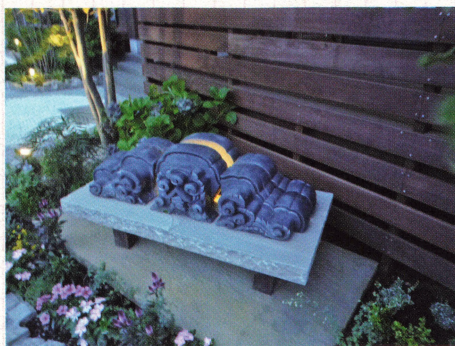
⬆ フラワーコンテナ立水栓のできあがり。

➡ 石臼の上にフラワーコンテナ立水栓を設置して、季節の草花を植栽。コンテナの植物はコリウス、ニューサイラン、ハツユキカズラ、下草はレモンバーム、ケイトウ、ニチニチソウ、ガザニア、コッキニア、ヤブコウジ、右の樹木はイチイ。

⬆ 使わなくなった防火用の容器。

⬇ 蛇口をつけて、花壇に変身。なんともいえない雰囲気の、味のある花壇に早変わり。

③ 古い鬼瓦(おにがわら)を生き返らせて家の新しいシンボルに

玄関脇の仕切りに。

古い瓦や石臼・水鉢(みずばち)などは、さまざまな形で再利用することができます。たとえば、古い瓦を花壇や園路(えんろ)の仕切りとして用いたり、古い石臼を敷石(しきいし)にしたり、水鉢を花壇にしたりと、別の機能として利用できます。ここでは、150年も前からある鬼瓦(おにがわら)を、オブジェや照明として再利用しています。

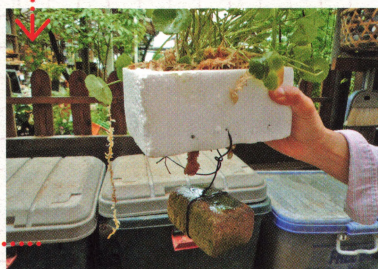
お庭のオブジェとして。

LEDをつけて照明に。

使わなくなった石臼をリサイクルしたお庭。

④ 古い鉢や壺は再利用してビオトープガーデンに

手づくりのビオトープガーデンのできあがり。

使わなくなった古い壺。

発泡スチロールの箱の中に水草（ウォーターマッシュルーム）を植え込み、下にレンガの重りを取り付けます。

古い鉢や壺も、工夫しだいで賢く再利用することができます。左の写真の実例では、発泡(はっぽう)スチロールの箱の中に水草(みずくさ)（ウォーターマッシュルーム）を植え込み、下にレンガの重りを取り付けて、古い壺の中の水に入れています。このように、水面に浮かべて楽しむことができます。水の中にメダカを入れておくと、水が汚れにくくなります。手づくりのビオトープ（動植物の生息空間）ができあがります。

※ P. 90 ～ 91 の施工実例は、すべて（有）庭樹園（P.94 参照）の設計・施工によるものです。

ガーデンリフォーム工事の依頼の仕方

ガーデンリフォーム工事の流れは、家の建築と同じです。イメージをもち、予算を決め、施工業者を選んで依頼し、プランや金額を検討して施工。仕上がりに満足すれば支払い・引渡しになります。ポイントは、できるだけ実物を見て、じっくりプランを練って、信頼できる施工会社をさがして契約を交わし、依頼して施工するということです。ここでは、ガーデンリフォーム工事の依頼の流れをみてみましょう。

取材協力＝（株）タカショー、（有）庭樹園、（株）LIXIL、レイアウト＝松本真由美（P.92～93）

1 雑誌や展示場でイメージをもつ

エクステリアメーカーのショールーム。

実物を見るのが一番

まず、リフォーム後のお庭のイメージをもちましょう。リフォームの目的をよく考えて。ライフスタイルの変化やお子様の成長に合わせてなど、目的によって、どのような庭が必要なのか、考えてみることです。また、施工するスペースも把握しておきます。住宅雑誌などで好みの施工実例をピックアップしたり、エクステリアメーカーの展示場に行って、実物を見るのもよいでしょう。この段階では、夢気分で自由な発想でお庭を選ぶのが一番です。

2 大体の予算を決める

タカショーの提携ガーデンリフォームローン。

自分で決めよう

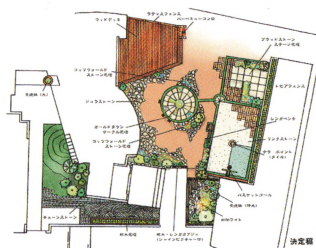
予算の目安を決めます。お庭は、規模や仕様によっては意外にお金がかかるものです。現状で、ムリなく支払える金額を算定しましょう。施工業者にとっても、たとえば「100万円で庭をリフォームしたい」といわれる方が、現実的なプランを提案しやすくなるからです。金額が大きい場合は、分割工事にすることも考えられます。また、提携ローンを利用するのもひとつの方法です。

3 施工業者を選ぶ

施工実例の写真と見積書見本。

施工例をチェック

予算が決まったら、施工業者を選びましょう。ポイントは、その会社の施工実例を見ることです。インターネットで施工業者のホームページに出ている施工実例を見てもよいし、近所で施工実例があれば、一番わかりやすいでしょう。迷ったら、口コミがベストです。気に入った施工実例が見つかり、施工業者の連絡先がわかったら、積極的に連絡をとりましょう。気軽に相談に応じてくれるはずです。

4 施工業者に現地調査・設計・見積りを依頼する

←↓平面図（左）とパース（右）。パースの方が平面図よりわかりやすく、イメージをもちやすい。

机上のプランを検討しよう

施工業者が決まったら、現地調査・設計・見積りを依頼しましょう。良心的な施工業者なら、施工主の希望を聞いて、いくつかプランを出してくれます。最近は CAD（コンピューターで作成した図面）などで、かなりリアルなパース（見取り図）が見られます。施工業者にも、建築図面を見るだけではなく、現場を見て判断してもらいましょう。見積もりは通常無料ですが、図面（平面図やパース）を作成すると、デザイン料を要求される場合があるので、有料か無料かを事前に判断しましょう。相見積りは 2～3 社でとれば十分です。

5 契約して細部の打ち合わせをする

←↑レンガを使った施工現場（左）とレンガの写真（右）。レンガの色などは特に実物を見た方がよいでしょう。

慎重に仕様・寸法を再確認しよう

具体的なプランを決定します。工事着手後の変更は、いたずらに工期を長引かせ、支払い金額がかさむ原因です。施工主はよく考えて決定しましょう。パースの変更や再見積りを重ねても、あとで後悔するよりはましです。たとえば、レンガの色などはカタログでは色合いをつかみにくく、現物を見せてもらった方がよいでしょう。どの雰囲気がよいか迷ったら、施工業者にまかせましょう。工期が長い場合など手付金（着手金）を支払うケースもあります。工事金額の 30 ～ 50% が目安です。

6 施工

施工現場。長い工事の時は完成が待ち遠しいものです。

信頼と会話でスムーズに

プランと金額について合意したら、施工になります。施工主が現場に立ち会えるのが一番良いことです。机上のプランに沿っていても、いざ施工をはじめると、細かいところで、どうしたらよいか、という場面が必ず出てきます。施工業者が現場で、プランではこうなっているが、こうすればもっと良くなる、という場合、施工主が即断すれば、作業がスムーズに、より良く運ばれます。一番大事なのは、施工主の「良かった」という声です。施工業者も施工主にほめられればがんばります。お庭は、業者だけでつくるのではなく、施工主との共同作業なのです。

7 完成・支払い

完成して満足できればスムーズな支払いに。

満足度が第一

施工が完了したら、支払いになります。施工主が仕上がりに満足したかどうかがポイントです。満足度がスムーズな支払いにつながります。不満なところや、もっとやってほしいところがあれば、完了前にキチンとした場所（現場）で説明をもとめましょう。納得がいかないところがあれば、追加工事をします。後日別な工事としてやるよりは、効率的です。満足できたら、施工業者からの請求書の支払い期限にしたがって支払いで完了です。確認→納得→支払いの順です。

施工会社一覧

本誌ですてきなガーデンリフォーム実例を披露してくださった施工会社さんをご紹介します。
すべて、プランニングから施工まで一貫して依頼できる会社です。ご気軽にご相談ください。

※季刊誌『エクステリア＆ガーデン』の公式ホームページ
http://blog.boutique-sha.co.jp/exterior/ でもご覧になれます。

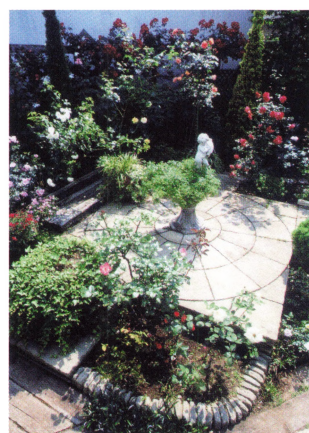
レイアウト＝梁川綾香 (P.94-95)

(有) 庭樹園〈ていじゅえん〉　東京都

自社のガーデニングショップ「グリーンテラス」があるため、豊富な樹木・草花を使った緑あふれる外構とお庭を提案しております。メーカー商品と手づくり品を組み合わせて、オリジナリティのあるお庭づくりを心がけております。

東京都練馬区高松 6-3-21
☎ 03-3996-8211　FAX.03-3996-8412
(URL)http://www.teijuen.co.jp
(E メール)green-terrace@ teijuen.co.jp
受注地域　練馬区

スペースガーデニング (株)　千葉県

住む人のオリジナリティを重視した外構と庭を提案し、ライフスタイルに応じた生活シーンを演出、特に自然素材を使ったリニューアル工事を得意とする。住宅展示場の一角にガーデン＆エクステリア総合展示場があり、植木も常時販売中。

●総合受付 ☎ 0120-199-732
●柏展示場店　柏市新十余二 15-2
(住まいるパーク柏の葉内)
☎ 04-7197-6606　FAX.04-7197-6603
●八千代店　八千代市緑が丘 1-1104-3
☎ 047-480-3939　FAX.047-480-3940
●さいたま展示場店
さいたま市北区別所町 61-3
☎ 048-780-2084　FAX.048-665-2094
(URL)http://www. s-gardening.com
受注地域　東京東部・千葉県北西部・茨城県南部・さいたま市

(株) ひまわりライフ　兵庫県

仕上がりや仕組みの分かる展示方法。見て頂き、お客様自身にも思いもよらない発想が生まれる空間創りを心がけています。夜のライティングをうまく溶け込ませ、他にはない満足度の高いご提案をお任せください。

●西神戸店
兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹 55-3
☎ 0120-511-286
●北神戸店
兵庫県神戸市北区道場町平田 1070-1
☎ 0120-335-670
●山口店
山口県山口市朝田 582-6
☎ 0120-112-864
毎週水曜日定休
(URL)http://www.hima-wari.co.jp/
(E メール)exterior@hima-wari.co.jp
受注地域　兵庫県・山口県

(株) ウエシン　兵庫県

家を訪れる人も、帰宅する家族も、最初に目にするのはエクステリアです。道行く人が素敵だなと思う、家に帰るのが楽しみになる、休日は遠くへ出かけるより我が家の庭で過ごしたい…。ウエシンはそんな屋外空間づくりのお手伝いを致します。エクステリア＆ガーデンの展示スペース ueshin's garden 環（Loop）を併設。ガーデンルームのほか、使っている素材は約 100 種。ぜひご来場の上、見て、触れて、お庭づくりのイメージをふくらませてみてください。

兵庫県神戸市東灘区岡本 4 丁目 8-11
☎ 0120-090-028
☎ 078-431-6868
FAX.078-431-7110
(URL)http:// ueshin.jp
(E メール)ueshin@kobe.email.ne.jp
受注地域　兵庫県・大阪府

遊庭風流〈ゆうていふうりゅう〉エコガーデン　福岡県

「家（いえ）」＋「庭（にわ）」＝「家庭（かてい）」。
遊庭風流は「家」と「庭」が共に完成して、住みやすい素晴らしい「住宅」が完成すると考えます。 北九州地域の本店（600 坪）、福岡地域の福岡東店（400 坪）。特色は様々な独自の素材を多用したモデルガーデン。 実物のサンプルも数多く展示している大きな展示場です。 ガラス素材とライティングのモデルガーデンも必見。ホームページには約 1,000 件の施工事例をジャンル別に大公開 !! 毎日更新しているブログ「遊庭風流徒然日記」も話題です !!

●本店
福岡県中間市岩瀬 4-15-41
0120-322-880
☎ 093-243-4880
FAX.093-243-4881
●福岡東店
福岡市東区和白東 1-25-16
0120-968-080
☎ 092-410-7008
FAX .092-410-7016
(URL) http://www.yutei-furyu.co.jp
(E メール)info@ yutei-furyu.co.jp
受注地域　福岡県全域

エクスライフ　岡山県

～「お庭をもっと生活の中へ。」をコンセプトに、お庭をお客様の生活に近い存在として感じて頂けるようなデザイン・設計・プランニングを心掛けています。まずはお客様との信頼関係を通じて…。様々な角度からライフスタイルに応じた新たな提案ができると信じています。多彩なライトアップで彩られた「夜景も楽しめる展示場」へ是非お越しください。

岡山県備前市浦伊部 341-1
☎ 0869-64-2443
FAX.0869-63-3443
（URL）http://www.exlife.jp/
（E メール info@exlife.jp/
受注地域　岡山県全域・兵庫県西部

グランド工房　福岡県

各店とも、庭づくりの参考となるモデルガーデンを展示しております。店内には当店の施工物件をビフォー・アフターの写真と費用、担当の解説入で大公開中です。ご来店の皆さまに大変参考になると好評です。グッズ・花苗・鉢などの販売、カルチャー教室も行っており、気軽に遊びに来ていただけるガーデンショップです。詳しくはホームページをご覧ください。

●下関店　0120-959-898
●小倉店　0120-993-220
●八幡店　0120-922-951
●宗像店　0120-282-394
●新宮店　0120-040-941
●西福岡店　0120-929-951
●南福岡店　0120-926-941
●筑紫野店　0120-944-941
●久留米店　0120-921-942
●大牟田店　0120-944-600
●佐賀店　0120-988-339
(URL)http://www.ground-f.com
(E メール)info@ground-f.com
受注地域　福岡県近郊・佐賀県・山口県下関市

『エクステリア＆ガーデン』

季刊誌『エクステリア＆ガーデン』の公式ホームページでは、過去に『エクステリア＆ガーデン』で掲載された全国の施工会社を都道府県別に表示しています。
『エクステリア＆ガーデン』の公式ホームページ
http://blog.boutique-sha.co.jp/exterior/

施工会社のポータルサイト

本誌掲載の施工会社の受注地域以外にお住まいの方は、以下のホームページをご覧ください。全国のエクステリア施工会社が都道府県別に網羅されていて、業者選びに便利です。

日本最大級のお庭づくりネットワーク
「タカショーリフォームガーデンクラブ」
http://rgc.takasho.jp/

(株)LIXIL が運営する施工例と工事店の検索サイト
「LIXIL リフォームネット」
http://lixil-reform.net/

用語解説

ア

アール
曲線。Rともいう。エクステリア業界では、「Rを出す」「Rを使う」などとよく使われる用語。

アイ・ストップ
住宅の正面などで、人の視線を引きつけるような際だった事物。たとえばシンボルツリーや門柱など。

アイアン鋳物（いもの）
アイアン（鉄）を鋳つぶして装飾的な飾りをつけたもの。門扉やフェンスなどで用いられる。

アイアンウッド
鉄のように硬い木材。

アイアン門扉（もんぴ）
アイアン（鉄）でできた門扉。

アプローチ
門から玄関に通じる通路。

洗い出し（あらいだし）
床面を仕上げる左官仕上げの技法のひとつ。モルタルやコンクリートが完全に固まらないうちに表面を水で洗い流し、中に入っている骨材（砂・砂利・石など）を露出させる仕上げ。

アンティークレンガ
昔の建物に使われていたレンガ。一部が変色したり、欠けていたりする。素朴な風合いで人気がある。通路に敷いたり、塀に積んだりするのに使われる。ほとんどは輸入品。

インターロッキング
舗装用コンクリートブロックの一種。サイズ・形・色が豊富で、主にガレージやアプローチの舗装に用いられる。目地にはモルタルではなく砂を用いるので、透水性をもち雨水による水たまりができにくい。形は直線ではなく、相互にかみ合わせてズレを防止している。

ウッドデッキ
木でつくられたデッキ（台）。日本古来からある広縁の現代版。通常、リビングから外に張り出す形でつくられる。

エクステリア
直訳では建物の外部、外観。日本では建築用語の外構と同じ意味。建物全体の付属物、景観のしつらえ、外構・造園などの総称。最近は、門、塀、アプローチ、植栽、庭などを美しくするもの、というような意味で使われる。

FRP（エフアールピー）
繊維強化樹脂。熱硬化性樹脂複合材料。木造住宅のバルコニーや屋上庭園の防水材として利用される。既製品の池、擬石、擬木などの建築材料のほか、門扉やポストなどにも使われている。

園路（えんろ）
庭園と庭園の間、庭の小道。

オーニング
可動式の日よけ。手動式と電動式がある。日ざしの強い窓やウッドデッキに面した窓の上に取り付けられる。ヨーロッパでは日常的に使用されており、屋外生活を彩る大切な装置となっている。取り付ける建物外壁の補強が必要になる場合があるので注意が必要。

オーバードア
頭上にスライドして開く扉。エクステリア業界では、ガレージでパネル状の扉が跳ね上がるタイプのものをいう。

オープンスタイル
エクステリアのデザイン手法のひとつ。道路に面して開放的な外構スタイルで、植栽を主体に構成される。

親子門扉（おやこもんぴ）
両開きの門扉のうち、片側の扉が他方より小さい形式のもの。

カ

カーポート
屋根つきのガレージ。屋根そのものをさすこともある。

笠木（かさぎ）
塀や門柱などの、最上部に乗せるもの。

ガゼボ
洋風の東屋（あずまや）のこと。東屋は四阿ともかく。庭の中の休息所。

株立ち（かぶだち）
一株の樹木から幾本かの幹が生えている樹木。

擬石（ぎせき）
自然の岩石に似せてつくったコンクリート製の石。自然石の細粒を混ぜることもある。

草目地（くさめじ）
植物を植えてつくる目地。本誌では、コンクリートとコンクリートの間をあけ、土を入れ、草丈の低い地被植物などを植えることを草目地としている。

沓脱石（くつぬぎし）
縁先にはきものをそろえて脱いでおくための適度な高さを持った石。

クローズドスタイル
エクステリアのデザイン手法のひとつ。家を門扉や高い塀で囲むので、プライバシー保護の効果が高い。

化粧砂利（けしょうじゃり）
砂利の一種で、表面に着色、塗装、研磨、切削など意匠上有効な仕上げをしたもの。

化粧（けしょう）ブロック
コンクリートブロックの一種で、表面に着色、塗装、研磨。切削など意匠上有効な仕上げをしたもの。

高木（こうぼく）
樹高が3m以上の木。

コニファー
針葉樹の総称。

サ

サークルストーン
円形状に石を敷いたもの。自然石や人口石を使う。テラスや花壇としてよく使われる。

サイン
表札のこと。

サンルーム
リビングの前に設置する部屋。

下草（したくさ）
樹木、灯籠。庭石などの添えとして根元のまわりにあしらう草本類。草本類以外に低木類やササ類、シダ類なども利用される。

主庭（しゅにわ）
敷地の中心となる庭。メインガーデンともいう。

植栽（しょくさい）
草木を植えること。草木を植えている場所も植栽といわれることがある。

シンボルツリー
その家のシンボル（象徴）となる樹木。

スタンプコンクリート
ステンシル（型押し）のように、床面や壁面のコンクリートに型を押し当てて、模様を描く方法。石貼りやレンガ敷きよりも工期が短く、コストも安い。デザインコンクリート、ステンシルクリートなど呼び方はさまざま。

セミクローズドスタイル
エクステリアのデザイン手法のひとつ。家を塀で囲むが、部分的に内部が透けて見えるようにすき間をつくったりして、閉鎖感を感じさせない。

船舶（せんぱく）ライト
船舶で使われていたライト。光が遠くまで拡散するのが特徴。マリンライトともいわれる。

ゾーニング
地割り。それぞれの住まい方、敷地条件に合わせて、門まわり、駐車スペース、アプローチ、主庭などを大まかに区画すること。

雑木（ぞうき）
山野に自生する自然木。

タ

玉石（たまいし）
海岸や河床にある丸みを帯びた石で、直径20～30㎝程度のものをいう。石積みにしたり、敷き詰めて玉石敷きに利用する。相州玉石、甲州玉石、多摩川玉石などが有名。

低木（ていぼく）
樹高が0.3～1.5m程度の木で、主として潅木をさしていう。

テラコッタ
イタリア語で素焼鉢のこと。

天端（てんば）
物の最上部または頭頂部の面。「うわば」ともいう。

動線（どうせん）
人間が作業をしたり移動したりする時の身体の軌跡。異なる種類の動線が交差しない、動線が短いことが一般的に良いとされている。ただし、アプローチなどは動線を長くした方がデザイン的に有利。

土留（どどめ）
土を取ったり盛ったりする時に、傾斜面や崖が崩壊しないように止めること。土留の方法として、擁壁や石積み、矢板（木製・鋼製）、ブロック積みなどを用いる。土止めとも書く。

土間（どま）
床面。元来は、家の中で土のままである部分。床面が土のままであることにも使われる。

トレリス
洋風庭園特有の工作物で、巾の狭い板材などを格子状に組んでつくる。

ナ

中庭（なかにわ）
三方または四方を建物や回廊で囲まれた庭空間。コート、坪庭ともいわれる。

塗り壁（ぬりかべ）
塀の仕上げ法の一種。ブロック塀の上から塗り壁仕上げ材をコテなどで塗って仕上げる。

ハ

パーゴラ
洋風の藤棚。

パース
透視図。目で見たように、そのまま描いた図。

バーベキュー炉（ろ）
バーベキューをするための野外料理施設。耐火レンガ積みでつくることが多い。

パティオ
スペイン風の中庭型テラス。

ピンコロ
自然石を約9㎝の立方体に手割りしたもの。小舗石のこと。

フォーカルポイント
注視点。ガーデンデザインにおいて視線を集めるために意図的につくられたポイント。彫刻、花鉢、コニファー、オブジェなどを用いる。アイ・ストップと同じ。

フロントガーデン
前庭。フロントヤードともよばれる。

壁泉（へきせん）
壁に水道栓を通しているもの。

防草（ぼうそう）シート
雑草が生えないように、下地に敷く耐根性のシート。

マ

前庭（まえにわ）
建物の正面に面する庭。フロントガーデン、フロントヤードともいわれる。

枕木（まくらぎ）
鉄道のレールの下に敷く角材。エクステリアの素材としてもよく使われる。

御影石（みかげいし）
庭石の一種。兵庫県六甲山系から産出される淡紅色の花崗岩。

メインガーデン
主庭に同じ。

目地（めじ）
敷石、レンガ、タイルなどの細かい継ぎ目。

門袖（もんそで）
門扉の代わりに門前につくられる壁。ちょっとした目隠しにもなり、ポストや表札やインターホンなども取り付けられる。

ヤ

擁壁（ようへき）
切土や盛土により発生する傾斜面（法面）や崖の土の崩壊を防止するために設ける鉛直壁体構造物。

ラ

ラティス
板材などの組立部材で斜め格子に組まれた柱やフェンス。

乱貼り（らんばり）
敷石の手法のひとつ。大小の石を自然に貼ること。

立水栓（りっすいせん）
柱状になっている水道栓。

ロートアイアン
鍛鉄。高温で熱した鉄をハンマーでたたいてひとつひとつつくるもの。門扉などに利用される。

参考文献

●「エクステリア・ガーデンデザイン用語辞典」猪狩達夫監修、E＆Gアカデミー用語辞典編集委員会編著／彰国社

●「坪庭・小庭作り」吉河功著／ブティック社

ISBN978-4-8347-7201-2
C9476 ¥1200E

定価：本体1200円＋税

2013年8月30日発行第1刷
ブティック・ムック通巻1101号

PRINTED IN JAPAN　雑誌 62455-01